

ケナガネズミ

わが国には一七種類の野ネズミが生息している。その中で最も大きいのがケナガネズミで、頭から尾の付け根までの長さが二〇cmから三〇cm、そして尾は太く頭胴と同じく少し長い。黄褐色の毛に混じって背面に五、六cmの長さの剛毛があり、これが名前の由来となっている。ちなみに最も小さいのはカヤネズミで、頭から尾の先まで一五cmほどである。

ケナガネズミは、わが国固有のネズミで、一属一種、沖縄島北部、奄美大島、徳之島に分布している。この地域にはトゲネズミも分布し、同じく天然記念物となっている。

生息環境はシイ、カシなどの高木林で、ほとんど樹上で生活している。活動は夜間、枝から枝へ移動するがその動作は鈍い。シイの実や昆虫類を主な餌としている。昼間は樹洞で休息する。樹洞はまた繁殖にも使われ、枯れ葉や枝を運び込んで直径三〇cmの球状の巣を作る。冬期に二頭から五頭の子を産む。

連続した高木林や樹洞がある大木が必要のため、森林の伐採などの生息地の破壊と野生化したイエネコやマンガースなどの侵入動物による捕食がケナガネズミの生存を脅かしている。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓)



昭和47年5月15日天然記念物指定
(地域定めず)

撮影・前田憲男

文教施策の進展 平成9年度の展望

特集

- 8 総説 ◇文教行政全般の進展／各分野の文教施策の展開
- 10 文教施策の総合的推進 ◇教育改革の推進／地域における文教施策の充実／文教政策のための調査研究の充実／「我が国の文教施策」(教育白書)の刊行／教職員の生涯生活設計の推進
- 12 生涯学習 ◇生涯学習の振興／生涯学習の振興のための施策
- 14 初等中等教育 ◇初等中等教育の概況／教育内容・方法の改善／学校週五日制の推進／生徒指導の充実／進路指導の改善／健康教育の充実／国際化・情報化への対応／高等学校教育の改革／幼稚園教育・職業教育・特殊教育の振興／よりよい教科書の提供／学級編制及び教職員配置の改善／教員の資質能力の向上／公立学校施設の整備／海外子女・帰国子女教育の充実／外国人子女教育の推進／人権教育・同和教育の振興
- 26 高等教育 ◇高等教育改革の推進／リフレクシブ教育の推進／理工系人材の養成／医療人の育成／大学院の充実と改革／国立大学の整備充実等／公立大学等に対する助成／大学入学者選抜の改善／育英奨学事業の充実／学生の就職について／マルチメディアの活用
- 32 私立学校 ◇私学行政の概況／私学助成の充実
- 34 学術研究 ◇学術研究の概況／科学研究費補助金と出資制度の拡充／若手研究者の養成・確保／学術研究体制の整備／基礎研究の重点的推進／学術研究の社会的協力・連携の推進
- 38 社会教育 ◇時代の要請にこたえる社会教育事業の充実／社会教育の諸条件の整備
- 40 スポーツ ◇体育・スポーツ行政の概況／体育・スポーツ施設の整備充実／生涯スポーツの推進／競技スポーツの振興／学校における体育・スポーツの充実
- 44 文化 ◇文化政策の推進／芸術文化の振興／国語・著作権・宗務／文化財の保存・活用の推進／国立文化施設の整備・充実
- 48 国際交流・協力 ◇国際交流・協力の概況／留学生交流／教育の国際交流・協力／学術の国際交流・協力／文化の国際交流・協力の推進／スポーツの国際交流／国際機関を通じた協力
- 52 情報化の推進 ◇情報化施策の概況／情報化の進展に対応した各分野の取組
- 54 文教施設 ◇文教施設のインテリジェント化等の推進／初等中等教育施設の整備方針／国立学校施設の整備充実
- 56 平成9年度予算／文部省の機構定員／文教関係の税制

カラー

- I ある日の学校訪問記
- ◇兵庫県立 兵庫工業高等学校(兵庫県)
 - 4 天然記念物歳時記
 - ◇ケナガネズミ
 - 表2 名作シリーズ◇花の習作
 - 表3 文化財紹介◇佐原市佐原

- 6 であいふれあい◇千葉麗子
- 62 焦点◇文教施策
- 68 中教審ニュース
- 73 鑑賞席
- ◇国際美術館開館(〇周年記念)
- 素材と表現
- 国立西洋美術館所蔵作品を中心に
- ―世紀の軌跡
- ◇奈良国立博物館の名宝
- 74 家庭教育のための取組
- ◇家庭教育の充実に向けた支援施策
- 76 都道府県誌◇教育・学術・文化・スポーツニュース
- ◇青森県 ◇長野県 ◇岐阜県 ◇可児市
- ◇島根県
- 78 行ってみようやってみよう
- ◇国立夜須高原少年自然の家
- 80 海外教育ニュース
- 82 文学のふもと◇沈黙
- 84 編集後記

見島ウシ産地 (山口県萩市)

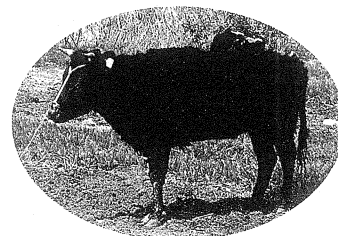
見島ウシは黒褐色の毛色で、雄でも体高が一・二mと小型の純粋和牛である。四肢が短く、蹄は大きく、角は小型で外上方に開き、成熟するのが遅く五年以上もかかる。多くの在来牛が西欧の品種との間で改良されたなかで、見島ウシは日本在来牛の牛の特徴をよく保存していることで天然記念物に指定されている。

見島は萩市の沖合い五〇kmにあり、周囲一八kmの台形状の島である。島の人々は漁業を主体とし、斜面に段々畑を開き農業をしている。古くからこの段々畑を耕すのに見島ウシが使われていた。小型で頑丈であることが耕作に適していたのであろう。

農耕機具の導入で牛による耕作の必要がなくなったこともあり、一時飼育頭数が減少した。しかし、見島の人々はこの牛を家族のようにかわいがっており、見島ウシ保存会の努力で、今ではほぼ一〇〇頭の牛が飼育されている。

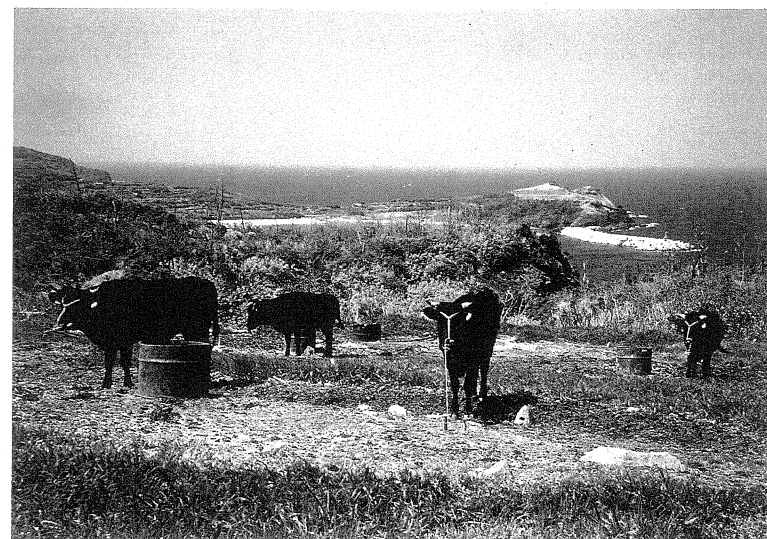
一〇〇頭の牛は二つのグループに分けられ、それぞれのグループに種牛と見習いの雄二頭、そして複数の雌牛がいる。こうすることで、この牛の遺伝的な系統保存が図られている。運動場と呼ばれる草地で草をはむ見島ウシの姿に、農耕を通して成立した日本人と動物の密接な関係が浮かんでくる。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓)



昭和3年9月20日天然記念物指定

問い合わせ先
山口県萩市教育委員会
TEL 0838-25-3131



特集 学術国際交流の推進

巻頭言 ● 8 学術国際交流によせて ◇井口洋夫

座談会 ● 10 学術国際交流の
現状と課題
◇出席者 木村嘉孝／飯山敏道／松村多美子／
小平桂子アネット◇司会 岩本 渉

エッセイ ● 20 私と外来片仮名語 ◇フランシヌ・エリユ

● 22 アメリカの経済と教科書の経済学 ◇小西秀樹
事例紹介① ● 24 拠点大学方式等によるアジア諸国との
学術国際交流について ◇日本学術振興会

事例紹介② ● 28 CERNのLHC計画と国際協力
◇高エネルギー加速器研究機構

事例紹介③ ● 32 日本が参加している国際的な共同研究
I GBP計画 ◇半田暢彦

事例紹介④ ● 35 海底孔から地球の営みを探る
◇東京大学海洋研究所

事例紹介⑤ ● 38 「人間と生物圏(MAB)計画」の活動
◇日本MAB計画委員会

解説1 ● 41 学術国際交流の推進について
◇学術国際局国際学術課

解説2 ● 46 南極地域観測事業四〇周年
◇学術国際局国際学術課／南極地域観測統合推進本部

カラー

- 1 ある日の学校訪問記
◇郷ノ浦町立郷ノ浦幼稚園 (長崎県)
- 4 天然記念物歳時記
◇見島ウシ産地(山口県萩市)
- 表2 名作シリーズ ◇大原女
- 表3 文化財紹介
◇絹本著色釈迦金棺出現図

6 であいふれあい ◇木坂 涼

50 焦点—文教施策

55 鑑賞席 ◇大草原の騎馬民族
中国北方青銅器

56 中教審ユース
◇福田繁雄ホスター展

66 霞が関トビックス

68 家庭教育のための取組
◇家庭教育への理解を深めるために

70 都道府県発—教育・学術文化エピソード
◇秋田県 ◇静岡県 ◇奈良県
◇北九州市

72 どんな講座—こな講座 大学の公開講座から
◇東京大学 ◇徳山工業高等専門学校

74 現代スポーツあれこれ
◇アウトドアスポーツの振興

76 行ってみようやってみよう
◇国立三瓶青年の家

78 海外教育ユース

80 文学のふもと ◇智恵子抄

82 お知らせ

84 編集後記

トラフダケ自生地

(岡山県真庭郡久世町・落合町)

本谷のトラフダケ自生地

(岡山県久米郡久米町)

「トラフダケ」とは竹の種類の名前ではない。ヤシダケという竹の稈(こ)に虎斑(とら)という菌が寄生したものである。菌のついた部分は煤(すす)がいつたように黒く汚れて見えるが、それをめくると落として磨くと、稈の表面に暗紫褐色の斑紋が浮かび出て大変美しいという。残念ながらトラフダケで作られた製品はほとんど現存していないようだが、江戸時代には筆などの工芸品として珍重されており、自生地は濫伐を防ぐために留山として人の出入りが禁じられていたとの記録もある。

ヤシダケは、稈高4mから8m程度の中型の竹で、本州中部以西の川沿いに分布している。しかし、トラフダケの存在は、岡山県美作地方でしか知られておらず、現在では、三町四か所の自生地が天然記念物に指定されている。

虎斑菌は、多湿で直射日光の当たらない環境を好むようだが、その詳しい生態は分かっていない。近年、群落の衰退が懸念され、保護のための調査が始まっているが、ヤシダケの良好な生育と、虎斑菌の繁殖する条件を両立させる必要があり、慎重な管理が求められている。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 蔭田明史)



大正13年12月9日天然記念物指定 (久世町・落合町)
昭和51年6月16日天然記念物指定 (久米町)

問い合わせ先 岡山県教育委員会文化課
TEL 086-224-2189

写真提供：落合町教育委員会

地域文化新時代 文化のまちづくり

特集

巻頭言 8 地域からの文化発信―無名塾の活動について―仲代達矢

座談会 10 地域文化新時代
◇出席者 松浦幸雄／平田オリザ／中村信夫／永井多恵子／◇司会 竹本廣文

論文 20 文化のまちづくりのマネージメントとは
◇衛 紀生

随想 24 地域文化新時代◇草刈津三
エッセイ 28 変化の予感◇松本 修

● 30 地域文化と共鳴するバレエ◇牧 阿佐美

● 32 演劇は人と人を結ぶアート◇ODD実行委員会

● 34 伝統芸術と現代芸術が融合した文化のまちづくり
◇山形県庄内地方拠点都市地域

● 36 挑戦する勇気あげます!!◇新潟県小出郷文化会館

● 38 スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド◇富山県福野町

● 40 二一世紀への新価値づくり
山形の美学を世界へ―臥龍楼日本画大賞展◇岐阜県宮村

● 42 「芸術情報プラザ」の活動内容◇芸術情報プラザ

● 44 地域文化の振興について◇文化庁文化財部地域文化振興課

特別記事 二一世紀に向けた介護関係人材育成の在り方

● 48 これからの高齢社会を支える介護関係人材の育成
C・A・R・Eプラン'97の持つ意義について◇鈴木章夫

● 50 二一世紀に向けた介護関係人材育成の在り方について◇高等教育局医学教育課

● 52 育成段階における医療と福祉の連携の推進◇川崎医療福祉大学

● 53 福祉社会システム専攻という夜間大学院
◇東洋大学大学院社会学研究科

● 54 高齢社会における介護関係施策の課題
◇厚生省社会・援護局施設人材課

● 55 福祉サービス現場からの期待する医療系人材
二一世紀医学・医療懇談会第二次報告を読んで◇橋本正明

カラー

1 ある日の学校訪問記

◇神奈川県立平塚ろう学校
(神奈川県)

4 天然記念物歳時記

◇トラフダケ自生地(岡山県)

本谷のトラフダケ自生地(岡山県)

表2 名作シリーズ◇打楽扁壺

表3 文化財紹介◇郡上踊

6 であいふれあい◇平尾誠二

57 鑑賞席◇ものがたり森

子どものための美術館
◇開館二〇周年記念展
国立国際美術館の二〇年

63 中教審ニュース

58 焦点◇文教施策

70 家庭教育のための取組

◇家庭教育への理解を深めるために

72 都道府県発―教育・学術・文化・スポーツ・ニュース

◇北海道東川町◇千葉県◇滋賀県

74 どんな講座 こんな講座―大学の公開講座から

◇東京農工大学◇沖縄大学

76 現代スポーツあれこれ

◇競技力向上を支える強化タレントについて

78 行ってみようやってみよう

◇国立オリンピック記念青少年総合センター

80 海外教育ニュース

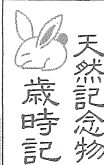
82 文学のふもと◇田舎教師

84 編集後記

特集 青少年の野外教育の推進

- 巻頭言 ● 8 現代の教育でいちばん大切な基本
野外教育 ◇三浦雄一郎
- 座談会 ● 10 生きる力を
はぐくむ野外教育
◇出席者 杉原 正／五十川隆夫／高梨房子／高野孝子
◇司会 尾山眞之助
- 提言 ● 20 企業からみた教育と自然体験 ◇後藤康男
- 24 環境問題を意識した
野外教育のすすめ ◇阿部 治
- 28 民間団体における野外教育の課題 ◇佐藤初雄
- 32 個を生かす野外教育 ◇土井浩信
- 事例紹介 ● 36 チャレンジ&クエスト
登校拒否児童・生徒の自然体験活動 ◇山口県教育委員会
- 事例紹介 ● 40 自然・人・地域に学ぶ
◇兵庫県立南但馬自然学校
- 事例紹介 ● 44 限りなき成長——野尻学荘
東京YMCA少年長期キャンプ ◇財団法人日本YMCA同盟
- 解説・資料 ● 48 青少年の野外教育の
充実に向けた施策
青少年の野外教育推進事業 ◇生涯学習局青少年教育課

- カラー
- 1 ある日の学校訪問記
◇日南市立飯肥小学校(宮崎県)
- 4 天然記念物歳時記
◇アマミノクロウサギ
表2 名作シリーズ ◇鶴
表3 文化財紹介
◇彦根城天守・附櫓及び多聞櫓
- 6 であいふれあい ◇吉野直子
- 52 焦点——文教施策
鑑賞席 ◇日本南極観測四〇周年記念
ふしぎ大陸 南極展
◇時代を語る「染」と「織」
墨書のある近世の染織
- 58 中教審ニュース
66 家庭教育のための取組
◇家庭教育への理解を深めるために
都道府県発——教育・学術文化・スポーツコース
◇福島県 ◇神奈川県 ◇鹿児島県
◇石川県 ◇松本市 ◇鹿児島県
- 70 どんな講座——こな講座 大学の公開講座から
◇仙台電波工業高等学校 ◇金沢大学
- 72 現代のスポーツあれこれ
◇スポーツ指導者養成制度について
- 74 科学は、いま
- 76 「全地球史解読」研究プログラム
行ってみようやってみよう
◇国立富山県立自然の家
- 78 海外教育ニュース
80 文学のふるさと ◇怪談
82 刊行物紹介・お知らせ
84 編集後記



アマミノクロウサギ



大正10年3月3日天然記念物指定
昭和38年7月4日特別天然記念物指定
(地域定めず)

●問い合わせ先 鹿児島県教育委員会文化財課
TEL 099-286-2111

撮影・浜田 太

歌津館崎の魚竜化石産地 および魚竜化石

(宮城県歌津町)

「歌津館崎の魚竜化石産地および魚竜化石」は、魚竜化石の標本と化石を産出する地層の両方が天然記念物に指定されている。この化石は、通常「ウツギョリウウ」という名前で呼ばれている。

ウツギョリウウは体長1mほどの一見イルカに似た海棲爬虫類の仲間である。最古の爬虫類は約三億五〇〇〇万年前の石炭紀に発生し、これから多様な爬虫類が進化することになる。中生代に大繁栄をし突然絶滅した恐竜や翼竜、そしてウツギョリウウのような魚竜などである。こうした爬虫類の進化の中で、ウツギョリウウは、「海の恐竜」と言ってもよい存在であろう。

ウツギョリウウの化石が発見された地層は、今から二億四〇〇〇万年前の中生代三畳紀初期の浅い海で堆積した泥の地層である。これは、世界各地の魚竜化石産地の中でも最古のものである。すなわち、今のところ世界で一番最初に魚竜が現れた場所であるといえる。

宮城県歌津町では、化石が露出した岩盤をアクリル板で保護し、泥岩の中での魚竜化石の産出状況が分かるように整備を行っている。この化石は、魚竜の進化や類縁の恐竜、ひいては爬虫類の進化全体を理解する上で世界的にも貴重な資料である。後世に長く残していかなければならない場所である。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 桂 雄三)



▶ウツギョリウウ化石の写真。長く突き出した口と肋骨が明瞭。
▼ウツギョリウウを産出する地層。化石はアクリル板で保護されている。



昭和50年8月2日天然記念物指定

写真提供：宮城県教育委員会及び歌津町教育委員会

CONTENTS

特集 大学改革と点検・評価

巻頭言●8 大学改革の自律的進展を目指して／原田康夫

座談会●10 大学が社会に果たすべき責任
と自己点検・評価の役割

◇出席者 木村 孟／麻生 誠／猪口邦子／◇司会 高 為重

評論●22 社会の接点として点検・評価に
何が求められるのか／中津井 泉

エッセイ●26 「形の喪失」と大学教育の将来／大森 彌

事例紹介①●28 「名古屋大学懇話会」の活動／名古屋大学

事例紹介②●30 東京大学文学部における「外部評価」／東京大学文学部

事例紹介③●32 全学規模で行われた第三者評価
東京工業大学の自己点検・自己評価・外部評価の例／東京工業大学

事例紹介④●35 活用されている学生の授業評価／国際大学

解説①●38 自己点検・評価の全般的傾向について
(外部評価も含む)／高等教育局大学課大学改革推進室

解説②●42 大学審議会の審議状況について／高等教育局企画課

解説③●47 「大学の教員等の任期に関する法律」について
／高等教育局企画課

特別記事 都道府県生涯学習情報提供システムの高度化の推進

●50 流れを見る目／時岡慎一郎

●52 都道府県生涯学習情報提供システムの
高度化の推進と方策／平沢 茂／清原慶子

●58 複数の提供手段を活用した
生涯学習情報提供システム／島根県立生涯学習推進センター

カラー

4 天然記念物歳時記

◇歌津館崎の魚竜化石産地
および魚竜化石(宮城県歌津町)

表2 名作シリーズ◇虹を見る

表3 文化財紹介◇和歌体十種

1 ある日の学校訪問記

◇山形県立上山明新館高等学校
(山形県)

6 であいふれあい／小川誠子

62 焦点―文教施策

68 お知らせ

69 鑑賞席◇アルフレッド・ヌーグリス
ツと野島康三

◇民俗開館二〇周年記念特別展
異文化へのまなざし

70 家庭教育のための取組
大英博物館「レクシオン」について

72 都道府県教育への理解を深めるために
◇山形県羽黒町 ◇三重県 ◇大阪府

74 どんな講座こんな講座 大学の公開講座から
◇千葉大学 ◇神戸大学

76 科学はいま
◇都市圏下の地震による災害の防止と軽減
内陸の活断層の脅威

78 行つてみようやつみよう
◇国立大洲青年の家

80 海外教育ニュース

82 文学のふもと◇琵琶湖周航の歌

84 編集後記

特集 中央教育審議会第二次答申

- 巻頭言 ● 個性を尊重する教育を目指して
◇小杉 隆
- 座談会 ● 10 二一世紀を展望した教育改革
形式的な平等の重視から個性の尊重へ
◇出席者 有馬朗人／小澤紀美子／清水 司／荒井 桂
◇司会 富岡賢治
- 論文 ● 20 中央教育審議会第二次答申のポイント ◇木村 孟
- エッセイ ● 22 中教審の審議に参加して ◇河合肇雄
- 中教審答申 ● 24 新たな「公平観」をどう作るか ◇永井順國
を読んで
- 26 中央教育審議会第二次答申の
『高等学校入学選抜の改善』を読んで ◇松原伸悟
- 28 新たな時代に対応した教育改革の推進を
◇森本昌義
- 30 本校の取組の中から思うこと ◇岩切正憲
- 32 教育上の例外措置について ◇野口 廣
- 34 中教審答申を読んで
高齢社会に対応する教育を中心に ◇山崎美貴子
- 解説 ● 36 中央教育審議会第二次答申について
◇大臣官房政策課
- 42 諸外国の大学入学制度と例外措置
◇大臣官房調査統計企画課

- 1 ある日の学校訪問記
◇岐阜市立加納中学校(岐阜県)
- 4 天然記念物歳時記
◇岩国のシロヘビ
- 表2 名作シリーズ ◇若き家鴨
- 表3 文化財紹介
◇山之口の文弥人形
- 6 であいふれあい ◇野村萬斎
- 48 焦点1 文教施策
- 56 刊行物紹介
- 57 中教審コース
- 62 鑑賞席 ◇新国立劇場開場記念公演
團伊玖磨作曲「建」TAKEMICHI
- ◇日本のかたな
鉄のわざ・武のこころ
- 64 家庭教育のための取組
- ◇家庭教育への理解を深めるために
都道府県発「教育・学術文化・スポーツ」コース
- ◇新潟県 ◇長野県小諸市
- ◇和歌山県 ◇香川県
- 68 どんな講座 こんな講座 大学の公開講座から
◇電気通信大学 ◇日本女子大学
- 70 現代スポーツあれこれ
◇競技力向上のための一貫指導について
科学はいま
- 72 H・V・E・S研究の新展開
行つてみようやってみよう
- 74 国立花山少年自然の家
- 76 海外教育ニュース
- 78 文学のふもと ◇荒城の月
- 80 お知らせ
- 84 編集後記

岩国のシロヘビ

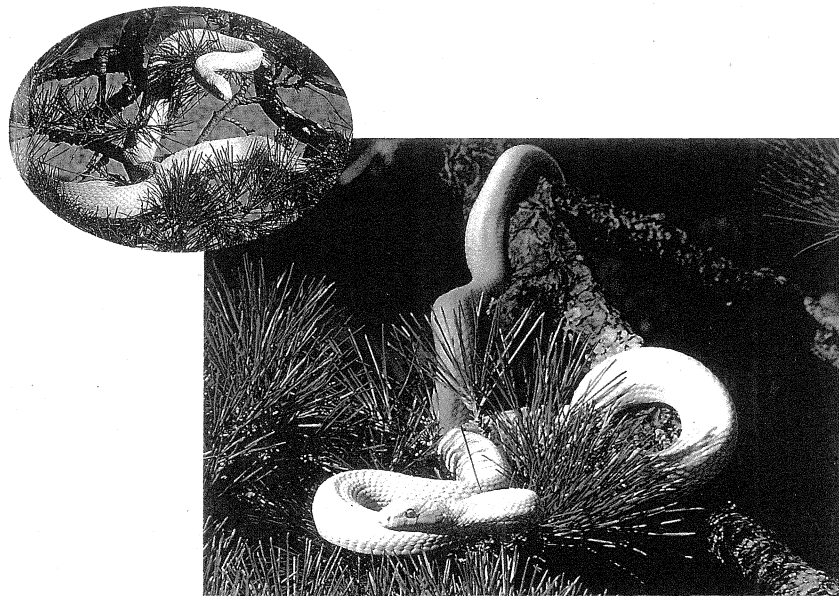
シロヘビは長さが一八〇cm、胴回りが一五cm程度で、その名のとおり全身白く光沢のある鱗で覆われ、ルビ色の赤い目をしている。

このシロヘビは種としては、我が国に普通に生息しているアオダイショウで、突然変異によってメラニン色素が欠乏し白化したものである。岩国ではシロヘビが安定した遺伝集団として、一地域に集中して生息しており、ハ虫類の中でこのような例は世界的にみても唯一のもので、学術的に貴重なものである。

なぜこのようなシロヘビの集団が確立し、長い期間保たれているのか、生物学的にも興味を持たれている。岩国では江戸時代から、米倉で害をなすネズミの天敵として、アオダイショウよりもシロヘビを大切に保存してきたといわれている。この人為的な選択がシロヘビ集団を成立させ、またシロヘビとアオダイショウとの遺伝的交流が保たれることで、生存に不利なシロヘビ集団が保存されてきたと考えられている。

近年、宅地開発等で石垣や米倉が減少しシロヘビの生息環境が失われてきており、岩国市では飼育・放飼場を設置してシロヘビの保存を図っている。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 登)



昭和47年8月4日天然記念物指定(地域定めず)

●問い合わせ先 岩国市教育委員会
TEL 0827-22-4141

写真提供・シロヘビ保存会

宮崎県の南部、都井岬の先端に我が国の代表的な在来馬の一つ、岬馬がいる。体高は一二〇cm程度と中型で、胴がやや長く、下半身が発達し、堅牢な蹄を持つ。毛色は鹿毛系統のものが主体で、背中に暗色の縞線（なま）を有するものが多い。

日本の在来馬は、縄文時代後期に中国大陸南部あるいは朝鮮半島から導入されたものが起源となっている。このうち岬馬は朝鮮半島を経由してたらされた蒙古馬の系統を継ぐものとされ、その特徴を純粋によく残しており、数少ない我が国の在来馬として天然記念物に指定された。

岬馬の歴史は一六九七年に高鍋藩秋月家が御崎牧場を創設したことから始まる。明治からは地元（御崎組合）の共有牧場となった。急峻な地形の牧場で、藩政時代から続くほとんど人為的な管理を加えない放牧によって、野性味あふれる岬馬の特徴が維持されてきた。

岬馬の野生味はその外観にとどまらない。雄を中心に複数の雌とその子からなる群れを単位とし、群れ固有の生活の根拠地（立場）と言われる、餌場、水場を一定の行動圏として遊牧することも、ウマ本来の生態を知る上で重要な特徴である。

（文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓）



昭和28年11月14日天然記念物指定



撮影・斎藤政典

巻頭言 ● 放送大学の全国化に向けて ◆井上孝美

対談 ● 10 放送大学に望む ◆小尾信彌／宮本美沙子

論文 ● 18 放送大学の将来 ◆星野英一

● 21 今後の放送大学の在り方 ◆立石信雄

随想 ● 24 効率性よりもまず倫理性の志を ◆酒井 昭

● 26 学び続けること ◆椎名桜子

● 28 放送大学と私 ◆御手洗理英

事例紹介 ● 30 放送大学における様々な試み ◆放送大学学園

解説 ● 38 諸外国の遠隔教育機関との交流 ◆放送大学学園教務部教務課

● 40 放送大学の現状と今後の課題 ◆生涯学習局生涯学習振興課

● 43 資料

● 48 やさしい用語解説

カラー

1 ある日の学校訪問記
◆京田辺市立田辺東幼稚園（京都府）

4 天然記念物歳時記

◆岬馬およびその繁殖地（宮崎県）

表2 名作シリーズ ◆雲中天壇

表3 文化財紹介

◆富田城跡（島根県）

6 であいふれあい ◆丹羽雅子

49 焦点—文教施策

55 お知らせ

59 中教審ユース

66 鑑賞席 ◆村岡三郎近作展

◆開館一〇〇周年記念特別展覧会

桃山絵画讃歌

68 家庭教育のための取組

◆家庭教育への理解を深めるために

70 都道府県発—教育・学術文化スポンジユース

◆青森県中里町 ◆岐阜県中津川市

◆福井県 ◆長崎市

72 どんな講座こんな講座—大学の公開講座から

◆宮城教育大学

◆共立女子大学・共立女子短期大学

74 現代スポーツあれこれ ◆民間スポーツ施設への支援について

76 科学はいま

◆体の「左と右」

78 行ってみようやってみよう

◆国立那須甲子少年自然の家

80 海外教育ユース

82 文学のふもと ◆奥の細道

84 編集後記

新たな時代に向けた 教員養成の改善方策について

特集

- 巻頭言 8 今日の教員養成改革の意味 ◇蓮見首彦
- 座談会 10 新たな時代に向けた教員養成
◇出席者 安藝 武/島田輝子/角替弘志/安齋省一/永井順國
◇司会 松元昭憲
- 論文 20 新たな時代に向けた教員養成の
改善方策について ◇上寺久雄
- エッセイ 26 六キロ瘦せた先生 ◇袖山雅弘
- 事例紹介① 28 社会人から教師になつて ◇滝口幸夫
- 事例紹介② 30 子どもから学ぶ「教育実践ボランティア」 ◇琉球大学
- 事例紹介③ 33 フレンドシップ事業「子ども理解の体験学」第一弾
「いろいろ交流いろいろ体験」を実施 ◇福岡教育大学
- 事例紹介④ 36 学校教育における社会人の活用 ◇三重県教育委員会
- 解説・資料 38 新たな時代に向けた教員養成の改善方策
について(第一次答申) ◇教育助成局教職員課
- 特別記事 民間ユネスコ活動五〇周年
- 50 民間ユネスコ運動五〇周年を振り返って
◇社団法人日本ユネスコ協会連盟
- 52 地域ユネスコ活動は行動の場 ◇目黒ユネスコ協会
- 53 国際基督教大学ユネスコクラブとは
◇国際基督教大学ユネスコクラブ
- 54 民間ユネスコ活動とともに歩む
◇財団法人ユネスコ・アジア文化センター
- 56 アジアの人文・社会科学研究のために
ユネスコ東アジア文化研究センターの事業
◇ユネスコ東アジア文化研究センター
- 57 我が国におけるユネスコ活動の推進
◇学術国際局国際企画課

- カラー
- 1 ある日の学校訪問記
◇大阪府立東住吉高等学校
(大原 彰)
- 4 天然記念物歳時記
◇カモシカ
- 2 名作シリーズ 婦人像
表3 文化財紹介 ◇白田祇園の曳山行事
- 6 であいふれあい ◇上川隆也
- 58 焦点 文教施策
- 60 中教審ユース
- 66 家庭教育のための取組
◇教育テレビ放送の実施
- 68 都道府県発 教育芸術文化スポーツユース
◇山形県鶴岡市 ◇茨城県 ◇京都府
◇高知県高知市
- 70 どんな講座 こんな講座 大学の公開講座から
◇弘前大学 ◇上智大学
- 72 現代スポーツあれこれ
◇長野オリンピック冬季競技大会の
概要について
- 73 お知らせ
- 74 科学はいま
◇アルツハイマー病における
神経組織の変化の在り方を探る
- 76 行ってみようやってみよう
◇国立沖縄青年の家
- 78 海外教育ユース
- 80 文学のふもと ◇死にたまふ母
- 82 鑑賞席 ◇文人画の近代
鉄斎とその師友たち
◇新国立劇場開場記念公演
青山半蔵 平成を寛ます
夜明け前
- 84 編集後記

天然記念物
歳時記

カモシカ

カモシカはシカとつくことからシカ的一种だと誤解されることが多いが、ウシ科に属し、ヤギやヒツジに近い仲間である。カモシカがシカではなくウシの仲間である証拠に、角は一本角で枝分かれすることなく、また一生生え替わることはない。

九州から、四国、紀伊半島以東から青森までの本州の山岳地に生息している。カモシカは我が国固有の種で、原始的な形態をしているとされ、また近縁の種が台湾や東南アジアに分布していることから、我が国の動物相の成立を知る上で重要な動物である。

通常、オス、メスとも八〇haから一〇〇haほどの行動域内で単独で生活している。この行動域は同性に対してはなわばりとして機能し、目の下や蹄間にある分泌腺から出る物質を木の枝などに擦りつけてなわばりの目印としている。出産は春、一産一仔でたまに双子が生まれる。餌は木の葉や草が主で、夏は落葉樹のみずみずしい葉、冬は常緑樹の葉やササを食べる。

静岡県水窪町では、『カモシカと森の体験館』を開館し、カモシカを主役とした森の動物と人との共存をテーマに、野外観察できる観察舎や園路および学習施設を整備している。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓)



昭和9年5月1日天然記念物指定
昭和30年2月15日特別天然記念物指定
(地域定めず)



●問い合わせ先
『カモシカと森の体験館』静岡県水窪町教育委員会
TEL 0539-87-1101

高崎山のサル生息地 (大分県大分市)

ニホンザルは屋久島から下北半島にかけ、広く分布する我が国固有の動物である。人を除く霊長類の中では最も北に分布する種であることはよく知られている。各地にサルが生息するということは、人とサルの距離が近いことを意味し、サルを主人公にした動物民話や説話が数多くあることはその証であろう。ちなみに、先進国の中では我が国は野生のサルが生息する唯一の国である。

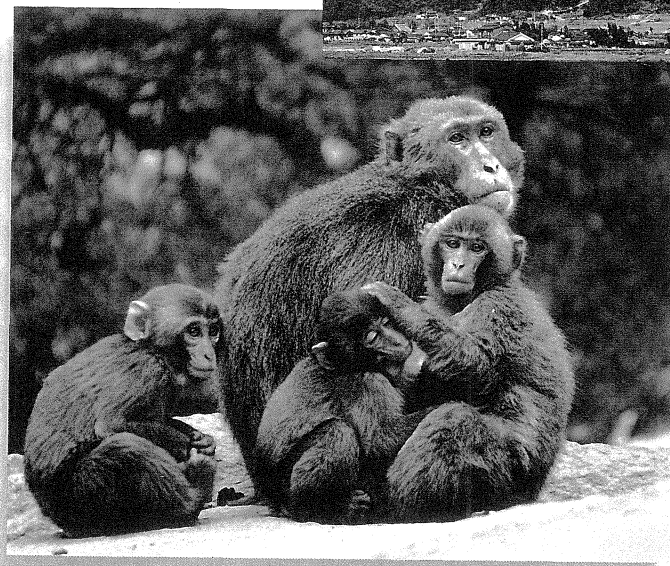
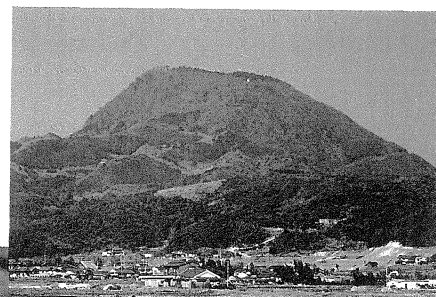
このこともあって、我が国では霊長類研究が進み、大分県の高崎山、宮崎県の幸島がその先駆けとなった。他にも箕面山（大阪府）、臥牛山（岡山県）、高岩山（千葉県）も格好の研究フィールドとなり、下北半島を加えた六か所が天然記念物に指定されている。

高崎山は別府湾に面した海拔六〇〇m余りの山で、野生のニホンザルを身近に観察できることで全国的に知られている。ニホンザルの社会や生態は教科書にも載り、私たちによく知られているが、それに果した高崎山の役割は大きい。当初二〇頭であった群れは現在三群二〇〇頭にものなっている。管理団体である大分市では、専門家を交え調査研究を行い、保護管理の方策を樹立しているところである。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓)

昭和28年11月14日天然記念物指定

●問い合わせ先 大分市教育委員会
TEL 0975-34-6111



写真提供：大分市教育委員会

教員の国際交流・協力

特集

巻頭言 ● 8 トルコから 教員の国際理解・協力への期待 ◇ 遠山敦子

座談会 ● 10 教員の海外体験と国際理解
◇ 出席者 坂下英喜／石橋弘光／ヒュー・F・オリファント／内海成治 ◇ 司会 吉尾啓介

論文 ● 20 今後の教員の国際交流・協力の在り方 ◇ 佐藤郡衛

エッセイ ● 24 異文化は教師 ◇ ショアンリビンクストン

特色ある事業 ● 26 フルブライト・メモリアル基金米国教員等受入事業 ― 動き始めた日米初等中等教育教員の交流

◇ 学術国際局国際企画課教育文化交流室

● 30 アメリカから二〇名の教員を迎えて

◇ 岐阜県教育委員会

● 32 はじめましてNIPPON! ◇ キャッシー・スパイサー

● 34 一つの目標へ向けた二つの方法

◇ ビッキー・ガデッキ／スーザン・ハウレイ

● 36 外国教育施設日本語指導教員派遣事業 (REXプログラム) について

◇ 学術国際局国際企画課

● 38 英国・ウエールズで教えて、学んで ◇ 川口雅子

● 40 青年海外協力隊の事業概要

◇ 学術国際局国際企画課教育文化交流室

● 42 私にできること ◇ 田川昌子

解説 ● 44 教員の国際交流・国際協力に関する諸事業について

◇ 学術国際局国際企画課教育文化交流室

カラー

1 ある日の学校訪問記
◇ 伊勢市立厚生小学校 三重県

4 天然記念物歳時記

◇ 高崎山のサル生息地 大分県

表2 名作シリーズ ◇ 東寺の緑日

表3 文化財紹介
◇ 徳島藩御召鯨船千山丸

6 であいふれあい ◇ 諏訪内晶子

46 焦点 ― 文教施設

53 刊行物紹介 ◇ お知らせ

54 中教審ニュース

64 家庭教育のための取組

◇ 家庭教育への理解を深めるために

66 家庭教師 ― 教育者文化スポーツニュース

◇ 岩手県北上市 ◇ 埼玉県

◇ 群馬県吉井町 ◇ 大分県

68 どんな講座 ― 本学の公開講座から

◇ 筑波技術短期大学 ◇ 城西国際大学

70 現代スポーツあれこれ

◇ 長野オリンピックと環境保全

72 科学はいま

◇ 遺伝子の傷を治すしくみ

74 行つてみようやってみよう

◇ 国立吉備少年自然の家

76 海外教育ニュース

78 文学のふもと ◇ 源氏物語 ― 宇治十帖

80 鑑賞席 ◇ 平成一〇年初春歌舞伎公演

◇ 新国立劇場開場記念公演
現代舞踊 ― パノラマ展

82 お知らせ

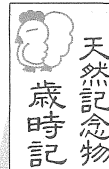
84 編集後記

特集 生涯にわたる心身の健康の保持増進のために

今後の健康に関する教育及びスポーツの振興について

- 巻頭言 ● 12 生涯にわたる心身の健康の保持増進のために ◇石川忠雄
- 座談会 ● 14 現代の社会変化と心身の健康とスポーツ ◇出席者 加賀谷淑彦／和唐正勝／惠美三紀子／河野一郎／秋山エリカ ◇司会 北村幸久
- 論文 ● 24 保健体育審議会答申のポイント ◇落合 優
- 27 学校健康教育の方向と展望 ◇高石昌弘
- 30 生涯にわたるスポーツライフの実現に向けて ◇山口泰雄
- 33 競技力向上方策の概略 ◇浅見俊雄
- 36 保健審の審議に参加して ◇本間三和子
- 38 スポーツ心弾ませて ◇増田明美
- 40 日本のアイスホッケーについて ◇ヒョン・キンディング
- 42 健康教育に関する学校栄養職員員の取組 ◇社団法人全国学校栄養士協議会
- 44 組織的に心とからだの健康づくりを目指す健康教育 ◇東京都足立区立花保中学校
- 46 身近な学校施設開放 ◇東京都渋谷区教育委員会
- 48 総合型地域スポーツクラブモデル事業 ◇北九州市教育委員会
- 50 日本サッカー協会・選手育成システム ◇財団法人日本サッカー協会
- 解説 ● 52 生涯にわたる心身の健康の保持増進のための今後の健康に関する教育及びスポーツの振興の在り方について ◇体育局体育課
- 57 平成八年度 体力・運動能力調査結果の概要 ◇体育局生涯スポーツ課

- 1 ある日の学校訪問記 ◇鹿児島大学教育学部附属幼稚園 (鹿児島県)
- 4 天然記念物歳時記 ◇タンチョウ
- 表2 名作シリーズ ◇染付絵変わり皿
- 表3 文化財紹介 ◇蒔繪
- カラー
- 10 であいふれあい ◇吉田 都
- 58 焦点—文教施設
- 63 中教審ニュース
- 68 都道府県発—教育・学術文化スポーツニュース ◇山形県 村山市 ◇長野県 栄村 ◇滋賀県 ◇佐賀県
- 70 どんな講座—こんな講座—大学の公開講座から ◇東京水産大学 ◇武蔵野女子大学
- 72 現代スポーツあれこれ ◇長野オリンピック聖火リレー始まる
- 74 科学はいま ◇脳の高次機能理解のための研究
- 76 行つてみようやつてみよう ◇国立阿蘇青年の家
- 78 海外教育ニュース
- 80 文学のふもと ◇因幡の雪
- 82 鑑賞席 ◇人形浄瑠璃文楽公演 近松名作集 ◇梵鐘の聲—平家物語より
- 84 編集後記



タンチョウ

天然記念物
歳時記

すつきりとした黒と白のコントラストに頭頂部の赤いポインツ。タンチョウのこの端正な美しさは日本人の美意識になつたもので、古くから絵画などで親しまれ、我が国を代表する鳥となっている。

とはいえ、タンチョウは我が国にだけ生息するわけではなく、ロシアのウスリー・アムール川流域から中国東北部を繁殖地とし、朝鮮半島から揚子江に渡って越冬する東アジア特産の鳥である。我が国では釧路湿原を中心とした北海道東部に生息し、国内で繁殖する唯一のツル類である。

早春三月、越冬地に集まっていたタンチョウのつがいは湿原に戻り、直径1mから2mの皿形の巣をつくり産卵する。一か月で雛がかえり、三か月もすると飛べるようになる。越冬期には阿寒や鶴居の給餌場周辺に集まってくる。

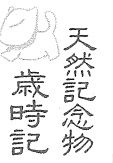
タンチョウにとって繁殖期には湿原や湖沼、越冬期には安全なねぐらとなる不凍結の河川が欠かせない。開拓によりこれらの環境が減少したため、天然記念物指定時にはわずか三〇羽程度であった。現在、地元での保護が功を奏し、六〇〇羽近くまで回復している。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓)



昭和10年8月27日天然記念物指定
昭和27年3月29日特別天然記念物指定
(地域定めず)

●問い合わせ先 北海道鶴居村教育委員会 TEL 0154-64-2050
阿寒町教育委員会 TEL 0154-66-2121



柴犬

「え、我が家の愛犬ヒメは天然記念物なの!」、と飼主。柴犬を飼われている方も驚かれたでしょう。柴犬は体高は三五から三九cm、体長は四一から四四cmと小型の日本犬です。毛色はほとんどが赤で、尾は巻型。丸顔のものと面長のタイプがあります。活動力にとみながらもおとなしく、広く愛されている日本犬です。

天然記念物指定基準の中には、「日本に特有な蓄養動物」の項目があり、これによって在来の家畜や家禽として、ウシ、ウマ、ニワトリ、そしてイヌが指定されています。北海道犬、秋田犬、柴犬、甲斐犬、越の犬、四国犬、紀州犬の七品種が天然記念物となっています。

縄文時代の遺跡から、埋葬された犬が多数発見され、その分布は全国に広がっています。この時代、既に日本人にとって犬が身近な動物であったことは確かです。弥生時代には朝鮮半島から犬が連れてこられ祖形が形づくられたと考えられています。そして、狩猟など生活の要にに応じて改良され今に伝えられたのが、現在の日本犬と云うことができます。

このように天然記念物は、我が国の自然の成り立ちを表す自然や現在の代表的な自然ばかりではなく、日本人の文化的な活動の中でつくられたものも指定しているのです。

(文化庁文化財保護部記念物課文化財調査官 池田 啓)

昭和11年12月16日天然記念物指定 (地域を定めず)



撮影・さとうあきら

教育課程の改善

特集

巻頭言 ● 8 明日を拓く教育課程 ◆河野重男

座談会 ● 10 二一世紀に向けた

教育内容を目指して

◆出席者 無藤 隆／川合眞紀／鈴木 仁／堀内一男／浅井経子／◆司会 徳重眞光

論文 ● 22 ゆとりの中で

知の創造を目指す教育課程

◆山極 隆

解説 ● 26 教育課程審議会

「教育課程の基準の改善の

基本方向について(中間まとめ)」について

完全学校週五日制の下、ゆとりの中で(生きる力)を育成
◆初等中等教育局小学校課教育課程企画室

● 28 教育課程 Q & A

● 31 教育課程の基準の改善の
基本方向(中間まとめ)の概要

● 45 小学校、中学校、高等学校の
教科等の構成及び
授業時数等(案)について

カラー

1 ある日の学校訪問記

◆秋市立明倫小学校(山口県)

4 天然記念物歳時記

◆柴犬

表2 名作シリーズ◆卓上静物

表3 文化財紹介

◆ナガレ山古墳

6 であいふれあい◆神田陽子

50 焦点―文教施策

60 中教審ニュース

66 お知らせ

67 鑑賞席◆東洋絵画の精華

クリエーションから

68 家庭教育のための取組

◆家庭教育への理解を深めるために

都道府県発―教育・学術文化スポンサー

◆宮城県女川町 ◆静岡県

◆鳥取県 ◆北九州市

72 どんな講座 こんな講座―大学の公開講座から

◆国立天文台 ◆国際医療福祉大学

74 現代スポーツあれこれ

◆長野パラリンピック

76 科学は、いま

◆二一世紀の光新時代を支える

有機非線形光学材料

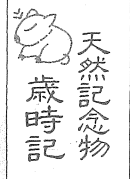
78 行ってみようやってみよう

◆国立磐梯青年の家

80 海外教育ニュース

82 文学のふるさと◆からたちの花

84 編集後記



スナメリクジラ

廻游海面

スナメリクジラは単にスナメリとも呼ばれ、体長が一・五から一・八mほどの小型のイルカである。いわゆるイルカのイメージとは異なり、頭が丸く、くちばし、背びれもなくすんぐりとした体型をしている。

スナメリはインド洋から東シナ海、仙台以南の我が国の沿岸域にかけて広く分布する。瀬戸内海など波静かな海域で多く見られ、竹原市沖にある阿波島沿岸では毎年二月から五月中旬にかけて姿を見せる。通常一頭または数頭の小群で回遊するが、かつてこの地域では時に数十頭から多いときには一〇〇頭ものスナメリが、繁殖のために集まったといわれる。

スナメリが集まることを利用して、この地方では「すなめりあじろ」と呼ばれる独特の漁法が成立した。スナメリの餌となることを避け、イカナゴ等の小魚は海底近くに移動する。このイカナゴを求めてタイヤスズギが集まるので、そこでイナカゴを餌としてこれらの高級魚を釣るのがこの漁法である。

スナメリが繁殖のため多数回遊してくる場所、それを利用して特有の漁法が成立し伝えられていることの両面から天然記念物に指定されたものである。

(文化庁文化財保護部記念物調査官 池田 啓)

今年度の「天然記念物歳時記」は千支にちなんだものを紹介しました。一二番目のイノシシにちなんだ天然記念物はありません。イノシシはフタ(豚)の原種で、「海豚」と書く「イルカ」ということでスナメリの紹介をしました。

(広島県竹原市)



昭和5年11月19日天然記念物指定

CONTENTS

情報ネットワークを活用した新しい学校教育

特集

巻頭言●8 情報化の進展と学校教育 ◇石井威望

座談会●10 情報通信ネットワークを

活用した新しい学校教育

◇出席者 西村哲子／林 英輔／武田国夫／野中ともしよ◇司会 河村潤子

論文●22 海外の情報教育 ◇清水康敬

提言●28 特殊教育における

情報通信ネットワーク ◇中村 均

エッセイ●30 未来の教室 ◇平木理化

事例紹介①●32 岐阜県における

教育情報ネットワークの活用 ◇岐阜県教育委員会

事例紹介②●36 子どもの可能性を広げる

ネットワーク学習 ◇千葉市立新橋小学校

事例紹介③●40 郷土を見つめ、世界へ伝える

インターネットの活用 ◇鹿児島県東町立鷹巣中学校

解説●44 情報化の進展に対応する文教施策の推進

新しい学校の構築へ ◇初等中等教育局中学校課情報教育室

カラー

1 ある日の学校訪問記
◇石川市立石川中学校(岩手県)

4 天然記念物歳時記

◇スナメリクジラ廻游海面(広島県)

表2 名作シリーズ◇コンボジション

表3 文化財紹介

◇綿業会館本館

6 であいふれあい米村傳治郎

48 焦点―文教施策

51 中教審ニュース

65 お知らせ

68 家庭教育のための取組
◇家庭教育への理解を深めるために

70 都道府県別―教育・学術文化スポーツニュース
◇北海道足寄町 ◇三重県宮川村
◇京都府 ◇山口県豊北町

72 どんな講座こんな講座―大学の公開講座から
◇名古屋工業大学 ◇国学院大学

74 科学はいま
◇ゲノムサイエンス

76 行ってみようやってみよう
◇国立日高少年自然の家

78 海外教育ニュース

80 文学のふもと―山羊の歌

82 鑑賞席―陶磁器の文化史

◇地球のなかつた

84 編集後記

特集 文教施策の進展 平成10年度の展望

- 8 総説
 - 11 文教施策の総合的推進
 - 文行政全般の進展／各分野の文教施策の展開
 - 教育改革の推進／文教施策のための調査研究の充実／「我が国の文教施策」(教育白書)の刊行／教職員の生涯生活設計の推進
 - 13 生涯学習
 - 生涯学習の振興／生涯学習の振興のための施策
 - 16 初等中等教育
 - 初等中等教育の概況／教育内容・方法の改善／学校週五日制の推進／生徒指導の充実／進路指導の改善・充実／国際化への対応／高等学校教育の改革と中高一貫教育・幼稚園教育・職業教育・特殊教育の振興／よりよい教科書の提供／学級編制及び教職員配置の改善／教育の資質能力の向上／教育委員会を中心とする地方教育行政制度及び運用の改善／公立学校施設の整備／海外子女・帰国子女教育の充実／外国人子女教育の推進／人権教育の振興
 - 26 高等教育
 - 高等教育改革の推進／リフレッシュ教育の推進／理工系人材の養成／公立大学等に対する助成／大学入学者選抜の改善／育英奨学事業の充実／学生の就職・学生等の就業体験(インターンシップ)の推進／マルチメディアの活用
 - 32 私立学校
 - 私学行政の概況／私学助成の充実
 - 34 学術研究
 - 学術研究の振興／科学研究費補助金と出資制度の拡充／若手研究者の養成・確保／学術研究体制の整備／基礎研究の重点的推進／学術研究の社会的協力・連携の推進／研究評価の充実
 - 39 社会教育
 - 時代の要請にこたえる社会教育事業の充実／社会教育の諸条件の整備
 - 42 スポーツの振興と健康教育
 - 体育・スポーツ行政の概況／生涯スポーツの推進／競技スポーツの振興／学校における体育・スポーツの充実／健康教育の充実
 - 49 文化
 - 文化政策の推進／芸術文化の振興／文化財の次世代への継承・発展／アイヌ文化の振興／文化発信のための基盤整備
 - 54 国際交流・協力
 - 国際交流・協力の概況／留学生交流／教育の国際交流・協力／学術の国際交流・協力／文化の国際交流・協力の推進／スポーツの国際交流／国際機関を通じた協力
 - 58 情報化の推進
 - 情報化施策の概況／情報化の進展に対応した各分野の取組
 - 60 文教施設
 - 文教施設整備の展開／新たな時代に応じた文教施設の取組／国立学校施設の高制度化・多様化の推進
- 62 平成一〇年度予算／文部省の機構・定員／文教関係の税制

カラー

- 1 記念館めぐり・ゆかりの地を訪ねて
静岡市立芹沢銚介美術館(静岡県)
- 4 天然記念物歳時記
釧路湿原
- 表2 名作シリーズ
聖なる象
- 表3 文化財紹介
置賜の登拝習俗用具及び行屋

- 6 私と教育、私として
ピーター・フランク

- 68 焦点—文教施策
70 中教審ユース
78 都道府県発
茨城県、滋賀県、富山県入善町、京都市

- 80 海外教育ユース
82 私の選んだ一冊
佐野金吾
- 83 鑑賞席
84 編集後記

天然記念物 歳時記

(北海道標茶町・鶴居村・釧路町)
昭和42年7月6日天然記念物指定



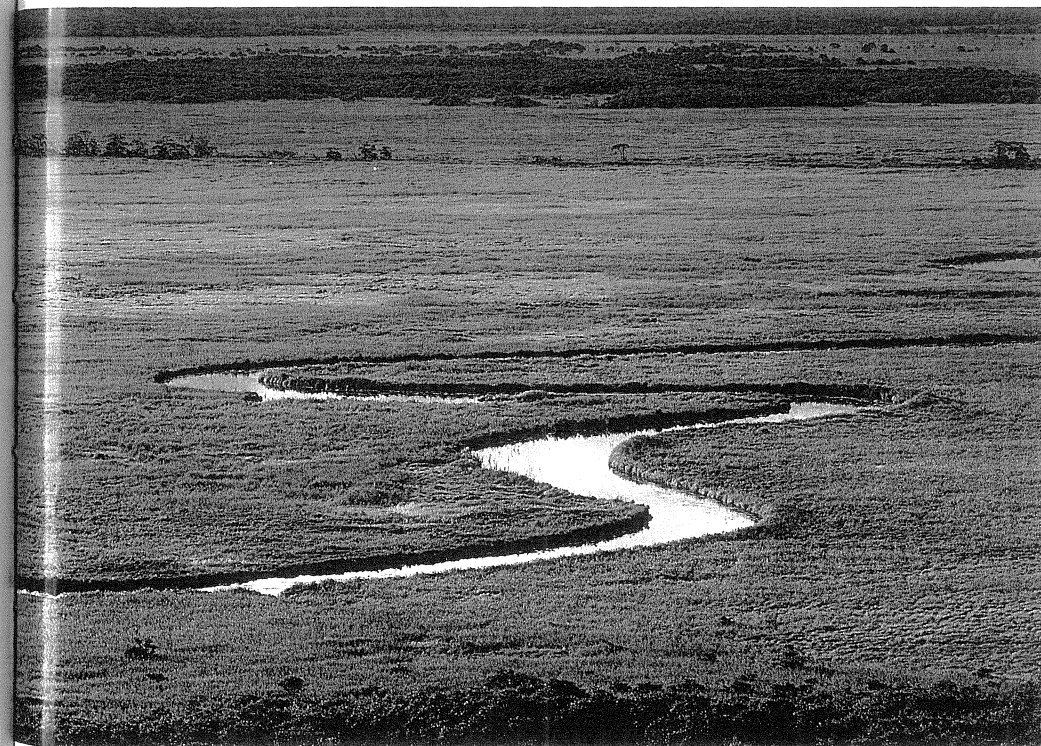
釧路湿原

日本最大の湿原、釧路湿原。見渡す限りに広がった広大な湿性植物群落の合間をゆったりと蛇行する幾筋もの川の流れ。その総面積は三万ha近くに達し、うち五〇〇〇ha余りが天然記念物に指定されている。特別天然記念物タンチョウの数少ない繁殖地としても有名であり、氷河期の遺存種、キタサンシヨウウオの唯一の生息地でもある。

湿原といっても、全域をミズケが優占しているわけではなく、ハンノキが点在したヨシ・スガ湿原が大部分を占める。四〇〇〇年前まで海水に満たされた内湾であったが、縄文時代晩期の海退とともに沼沢地が形成された。霧に覆われることの多い冷涼・多湿な環境が植物遺体の分解を妨げ、泥炭の堆積による湿原が形成された。

釧路湿原を訪れる時には、ぜひゆっくりと時間をとって出かけてほしい。高台に作られた展望台に立ち、この雄大な自然に身をゆだねる時、釧路湿原は、我々に無言のまま多くのことを語りかけてくれるに違いない。

(文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 蒔田明史)



写真提供：鶴居村商工観光課

特集 新しい私立大学を目指して

特別記事	学術研究における評価	井村裕夫
48 論文・研究を育てる評価		
50 解説	●科学研究費補助金に係る研究評価の概況／日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業に係る研究評価／大学共同利用機関等における研究評価の概況	
56 事例紹介	●東北大学／名古屋大学／高エネルギー加速器研究機構／東京大学生産技術研究所	
20 私学経営の求められる姿	論文	竹内 宏
23 新しい私立大学を目指して	レポート	水野博之
26 特色ある大学に学んで		多摩大学
27 インタビュー入学制度と出会って		東横学園女子短期大学
28 日本の大学に思うこと		札幌大学
29 次は企業へのチャレンジだ		青山学院大学大学院
30 立命館大学におけるリエン活動の三年間		立命館大学
32 学生と社会の期待にこたえるカリキュラム		嘉悦女子短期大学
34 地域に開かれた大学づくり		高知工科大学
36 最先端科学に挑む場として		関西大学
38 公開講座と学生ボランティアと大学開放		中央学院大学
40 次世代の高等教育の在り方を追求		東海大学
42 私立大学経営の現状		日本私立学校振興・共済事業団
45 私学助成の充実		高等教育局私学部私学助成課
50 解説	●科学研究費補助金に係る研究評価の概況／日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業に係る研究評価／大学共同利用機関等における研究評価の概況	
56 事例紹介	●東北大学／名古屋大学／高エネルギー加速器研究機構／東京大学生産技術研究所	

巻頭言 8 大学改革の中の私学 座談会 10 二一世紀、私立大学は こう変わる

(出席者) 戸田修三／奥島孝康／大沼 淳／志村尚子／(司会) 上杉道世

鳥居泰彦

天然記念物 歳時記

(北海道日高町)

昭和45年12月4日天然記念物指定

沙流川源流原始林

沙流川源流原始林は、日高山脈の北端、日高町と帯広市を結ぶ日勝峠近くに位置する。標高八〇〇mから一四〇〇mを超える地域にわたっており、その面積は八〇〇ha余に及ぶ。この地域の特徴は、森林の見事な垂直分布が見られることである。標高の低い川沿いには、カツラやエゾイタヤなどかなる広葉樹林が広がり、高度を増すにつれて針葉樹の比率が増してくる。トドマツやエゾマツなどの針葉樹に、ダケカンパなどの広葉樹を交えた「針広混交林」は北海道の冷温帯から亜寒帯域の代表的林相であり、この地域にはその典型がみられる。原生的な状態がよく保存されたこの地域には、ヒクマやエゾシカ、エゾライチョウなど北海道特有の動物相も豊富である。さらに上に登るとハイマツ帯があらわれ、氷河期の生き残りといわれるナキウサギの生息も知られている。

広々とした大地にしっかりと根づいた森林と清涼な水の流れは、北海道の豊かな自然の魅力を十分に満喫させてくれるであろう。

(文化庁文化財保護部記念物課 文化財調査官 蒔田明史)



カラー

1 記念館めぐり ●ゆかりの地を訪ねて
——天心記念五浦美術館(茨城県)

4 天然記念物歳時記
沙流川源流原始林

表2 名作シリーズ
青銅時代

表3 文化財紹介
黒漆大般若経厨子

6 私と教育私として
ダニエル・カール

62 焦点——文教施策
群馬県前橋市、千葉県和歌山県、静岡県熊本市

68 インフォメーション
中教審ニュース

75 私の選んだ一冊
安藤駿英

76 都道府県発
●教育・学術・文化・スポーツニュース

78 海外教育ニュース
群馬県前橋市、千葉県和歌山県、静岡県熊本市

80 文学のふもと
高野

82 鑑賞席

84 編集後記

特集 文化振興マスタープラン

巻頭言 8	文化立国の実現に向けて	樋口廣太郎
座談会 10	二一世紀の文化政策に期待すること	
	(出席者 水上 忠／高階秀爾／如月小春／浅尾新一郎／林田英樹)	
論文 22	二一世紀に向けたメディア芸術の新たな展開	滝川精一
エッセイ 24	震災復興が文化振興に示唆すること	新野幸次郎
事例紹介① 26	文化振興マスタープランによせて	江戸京子
事例紹介② 31	厚木の子どもと舞台芸術	厚木市文化会館
	文化財愛護少年団の歩み	大垣市教育委員会
34	平成九年度(第一回)文化庁メディア芸術祭	文化庁文化政策部芸術文化課
資料 36	文化振興マスタープラン	文化庁
	文化立国の実現に向けて	

カラー	1 記念館めぐり・ゆかりの地を訪ねて	古閑裕而記念館(福島県)
4	天然記念物歳時記	十和田湖および奥入瀬溪流
表2	名作シリーズ	聖女カタリナの神秘の結婚
表3	文化財紹介	吉井町筑後吉井
6	私と教育、私とつて	フランソワーズ・モレジャン
50	焦点—文教施策	
60	中教審ニュース	
68	インフォメーション	
69	私の選んだ一冊	和田征士
70	都道府県発	
	●教育・学術・文化・スポーツニュース	
	神奈川県、長野県辰野町、石川県小松市、沖縄県	
72	科学はいま	宇宙科学研究所
74	現代スポーツあれこれ	フットサル
76	行ってみよう やってみよう	国立赤城青年の家
78	海外教育ニュース	
80	文学のふるさと	最後の将軍
82	鑑賞席	
84	編集後記	

十和田湖および奥入瀬溪流

十和田湖は青森県と秋田県の県境に位置し、我が国固有数の透明度を誇る湖水と周辺に広がる落葉広葉樹林の新緑と紅葉で有名である。十和田湖から流れ出す唯一の河川が奥入瀬川で、八戸市付近で太平洋に注ぐ。奥入瀬川の最上流部十数kmほどの区間が奥入瀬溪流で、いくつもの滝と周囲の樹林の織りなす四季折々の渓谷美が著名である。十和田湖は、面積六・一km²、水深三六・八m、湖面の標高は四〇〇mで、南東側から突き出した御倉半島と中山半島により、西湖・中湖・東湖に分けられる。十和田湖は、十和田火山の噴火によってつくられたカルデラ湖である。湖の原型が作られたのは、一万三〇〇〇年前の大噴火の時といわれている。この噴火の時に噴出した火砕流の堆積物は、数十km離れた八戸市周辺にも厚く堆積し、噴出物の総量は四〇km³にも達した。八五〇〇年前には現在の中湖付近にあった五色台火山が噴火し、中湖カルデラが形成された。御倉半島と中山半島はこのカルデラ壁の一部である。十和田火山は、その後何度かの噴火を繰り返したが、御倉半島の先端の御倉山の熔岩ドームを形成した平安時代の噴火(約一〇〇〇年前)の後、暫しの沈黙を保っている。

(文化庁文化財保護部記念物課 桂 雄三)
文化財調査官



十和田湖

写真：池田 啓

特集 生涯学習施策の新たな展開

- 巻頭言 8 生涯学習の道 三浦朱門
- 座談会 10 生涯学習社会の構築に向けて
(出席者 高橋牧人／岩崎伸夫／有路 信
／今井伸治／河 幹夫／司会 寺脇 研)
- 解説 22 生涯学習施策一〇年の歩み 生涯学習局生涯学習振興課
- 事例紹介 31 地方公共団体と生涯学習
東京都生涯学習センター／広島県教育委員会／神奈川県教育委員会
- 34 民間団体と企業と生涯学習
東日本旅客鉄道株式会社／社団法人日本博物館文化協会／朝日カルチャーセンター
／ヤマハ株式会社／財団法人出版文化産業振興財団／経済団体連合会
- 体験記 41 生涯学習社会の夜明け(第二回生涯学習フェスティバル)
西村 憲
- 43 全国生涯学習フェスティバルに参加した民間の企業・団体等
- Q & A 45 生涯学習振興施策Q & A
- 解説 48 「子どもと話す」全国キャンペーンの実施状況
生涯学習局生涯学習振興課
- 特別記事 生命科学の進展と社会との調和
豊島久真男
- 50 論文●生命科学の進展に伴う新たな社会問題
豊島久真男
- 52 ●医系大学における教育・研究・診療と医の倫理―高久史磨
- 54 ●ユネスコ「ヒトゲノムと人権」に関する世界宣言
位田隆一
- 56 解説●学術国際局研究助成課／科学技術庁研究開発局ライフサイエンス課

- カラー
- 1 記念館めぐり●ゆかりの地を訪ねて
横浜市大佛次郎記念館(神奈川県)
- 4 天然記念物歳時記
上野檜原のシオジ林
表2 名作シリーズ
陽を浴びるポプラ並木
表3 文化財紹介
平戸のジャングル
- 6 私と教育、私とつげ
小平桂子アネット
- 58 中教審ニュース
都道府県発
●教育・学術・文化・スポーツニュース
栃木県、島根県出雲市、
長崎県佐々町、鹿児島県
- 70 科学はいま
東京大学海洋研究所
- 72 現代スポーツあれこれ
ビーチバレー
- 74 行ってみよう やつてみよう
国立中央青年の家
- 76 海外教育ニュース
文学のふるさと
潮騒
- 80 インフォメーション
私の選んだ一冊
大迫さかゑ
- 82 鑑賞席
編集後記

上野檜原のシオジ林



山あいの渓流沿いには特有の森林が成立する。洪水や土砂崩壊の起こりやすい不安定な立地に適応した林である。シオジ林も冷温帯域の典型的な「溪畔林」の一つである。

シオジは、モクセイ科トネリコ属に属する落葉高木で、クルミなどと同じように、一枚の葉が七枚から九枚程度の小葉に分かれた「羽状複葉」をもつ。群馬県鏡袋丸山を北限とし、熊本県までの主に太平洋側山地に分布している。

秩父山地には、立派なシオジ林がよく発達している。普通は、サワグルミ、トチノキ、

イヤタカエデやカツラなど渓流沿いによく見られる樹種と林を構成する。しかし、ここ上野檜原には、純林状のシオジ林が広がっている。胸高直径は五〇センチほどにすぎないが、樹高は三〇メートルにも達する見事な林である。

林床には様々なシダや草本層が発達し、こすえをわたる小鳥も多い。初夏の頃には、シオジの白っぽい幹がみずみずしい緑に映えて、心洗われるような気分がひたれるであろう。

(文化庁文化財保護部記念物課 文化財調査官 蒔田明史)

写真提供：安藤 博

特集 薬物乱用防止教育の充実

- 巻頭言 8 今日の薬物乱用問題が問いかけるもの 和田 清
- 座談会 10 薬物乱用防止教育の充実
（出席者）上野純一／鈴木 宏／佐能重雄／並木茂夫／高野惣一／司会 石川哲也
- 論文 18 学校における
薬物乱用防止教育の視点 勝野眞吾
- 随想 22 アンチ・ドーピング教育を考える 川原 貴
- 事例紹介① 24 教育活動全体を通して行う
薬物乱用防止教育 東京都千代田区立麹町中学校
- 事例紹介② 26 見て・試して・楽しい
都高P連における薬物乱用防止教育への取組 群馬県立高崎工業高等学校
- 事例紹介③ 28 国連総会麻薬特別会期について
薬物乱用は一度だけでも「ダメ。ゼッタイ。」の
社会環境をつくる 財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター
- 見聞記 30 薬物乱用防止教育に関する海外視察 鬼頭英明
- 解説 36 薬物乱用防止教育の推進 体育局学校教育課
- 資料 42 児童生徒の覚せい剤等の薬物に対する意識等調査
- 46 薬物乱用者数の推移
- 47 薬物乱用関連用語解説
- 6 私と教育、私として マリ・クリスティーヌ
- 48 焦点—文教施策 読者からのたより 中教審 ニュース
- 63 私の選んだ一冊 北海道 千葉県、
都道府県発 ●教育・学術・文化・スポーツ ニュース 香川県直島町、大分県
- 67 核融合科学研究所
- 70 科学はいま—オリエンテーリング
- 72 行ってみよう やつてみよう 国立大隅少年自然の家
- 74 海外教育 ニュース 一房の葡萄
- 76 文学のふもと インフォメーション
- 80 鑑賞席 編集後記

天然記念物 歳時記

(東京都小笠原村)

昭和47年11月24日天然記念物指定

南硫黄島

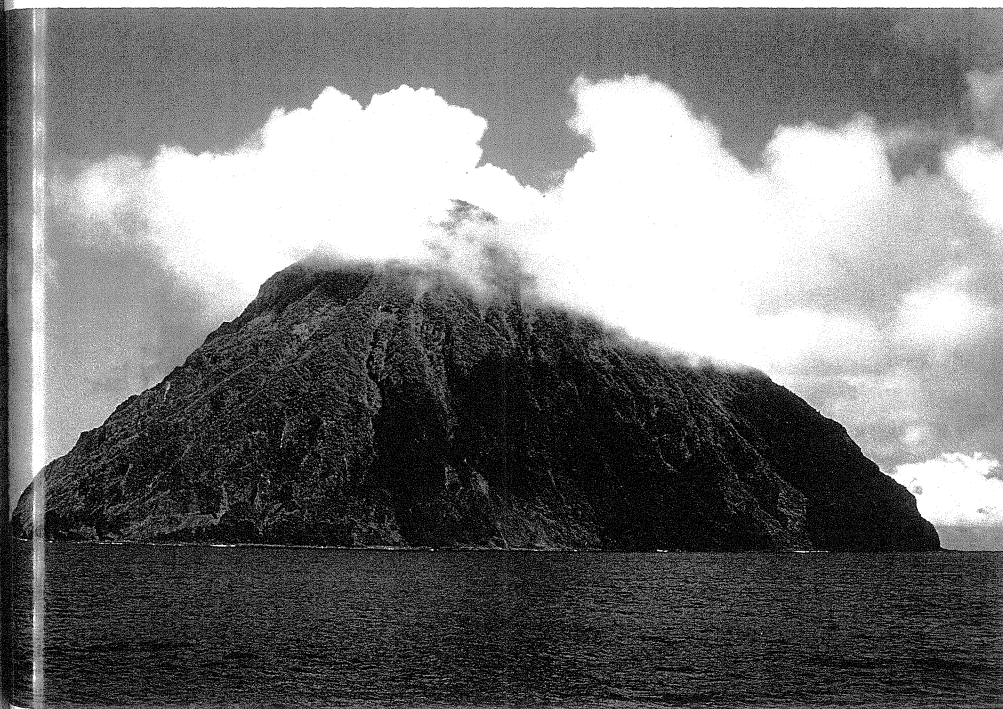
南硫黄島は東京から南へ、はるか二二〇〇kmの太平洋上にある面積二・六七km²、標高九一八mの海洋島である。小笠原諸島の南端に在ることで相対的な位置関係が把握しづらいが、その位置は沖縄の西表島とほぼ同じ緯度にあたる。

これまでの調査で哺乳類ではオガサワラオオコウモリ、鳥類はアカオネツタイチョウをはじめとする海鳥類を主に二一種、爬虫類二種、昆虫類はミナミイオウトラカミキリなど七種の固有種を含め一五二種が記録されている。なかでも、アカオネツタイチョウをはじめとする海鳥類の繁殖地として、有数の場所である。

高等植物は一八種が記録されている。海岸のセンダンやタコノキを主とした崖地乾性低木林、山地のチギ、コブガシなどの常緑広葉樹林、そして木性シダライネ科植物草原と小さい島でありながら海岸から山頂まで多様性に富んでいる。

第四紀に噴火の噴出物によって誕生したこの島は、これまで一度も大陸とつながることなく、またその地理的な位置から、さらに人為による影響をほとんど受けたことがないことから特異でかつ貴重な自然環境を保持している。

（文化庁文化財保護部記念物課 池田 啓）
文化財調査官



写真提供：小笠原支庁土木課自然公園係

特集 中央教育審議会「幼児期からの心の教育の在り方について」答申

巻頭言 8	心の教育の充実を目指して——有馬朗人
答申に 10	「幼児期からの心の教育の在り方について」の答申に当たって——根本二郎
11	中央教育審議会「幼児期からの心の教育の在り方について」答申（新しい時代を拓く心を育てるために——次世代を育てる心を失う危機——）について——大臣官房政策課
座談会 16	心の教育の充実を目指して
エッセイ 28	忙しいすぎる子どもたち——出席者 木村 孟／西東桂子／永井順國／山田 穰／司高 為重
論文 30	現代日本の父親——河合隼雄
34	子どもの荒れと日米の教育——恒吉僚子
38	今日、子育て事情——島内行夫
事例紹介① 42	なぜいま子ども電話なのか——牟田悌三
事例紹介② 44	青少年の自然体験プログラム——佐藤初雄
事例紹介③ 46	心を込めて積み重ねる人と自然との触れ合い——佐保田亘正
事例紹介④ 48	生きる力を支える豊かな心の育成——仙台市立将監中学校
解説 50	中央教育審議会「幼児期からの心の教育の在り方について」答申——大臣官房政策課
関連施策の概要	

6	私と教育、私として——アントン・ウインギ
52	焦点 文教施策——中教審二ノス
57	私の選んだ一冊——鈴木敏恵
69	都道府県別——教育・学術・文化・スポーツ二ノス
70	滋賀県、高知県中村市
72	現代スポーツあれこれ——ネイチャーゲーム
74	行ってみよう やってみよう——国立妙高少年自然の家
76	海外教育二ノス——文学のふさと——天平の颯
80	インフォメーション
82	鑑賞席
84	編集後記

●問い合わせ先
宇奈月町教育委員会 TEL 0765-65-0211
立山町教育委員会 TEL 0764-63-1121

(富山県宇奈月町、立山町)
昭和31年9月7日名勝及び天然記念物指定
昭和39年7月10日特別名勝及び特別天然記念物指定

黒部峡谷附猿飛ならびに奥鐘山

指定されている地域は、立山連山・剣岳・池ノ平山を結ぶ稜線と赤沢岳・爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳を結ぶ稜線に囲まれた黒部川（黒部ダム）東谷の合流点）の集水域に、下流の奥鐘山と猿飛峡周辺の二つの飛び地を加えた範囲である。

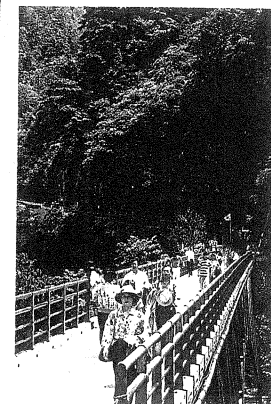
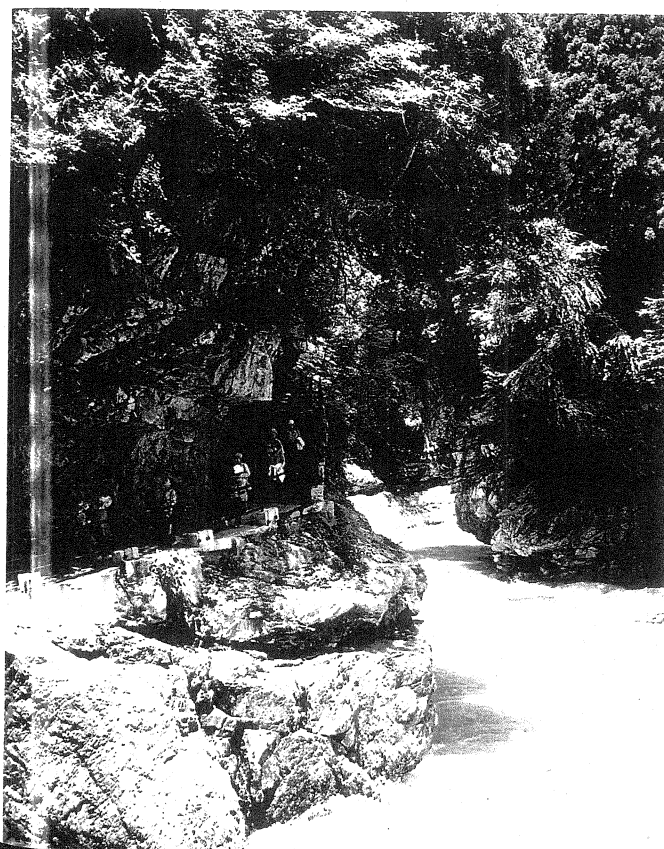
黒部川は北アルプス鷲羽岳付近を源流とし、北流して富山湾に注ぐ延長八〇kmほどの河川である。黒部峡谷はこの地域の急激な隆起により、花崗岩質の岩石が浸食されてできた深い谷地形で、川面と周辺の山稜との高度差は、二〇〇mにも達する。

流域には、典型的なV字谷地形を呈する白竜峡、棒小屋沢と剣沢が流れ込む十字峡、黒部川が蛇行をするS字峡、急峻な絶壁が続く奥鐘山周辺、そして、黒部峡谷の中で最も川幅が狭くなる猿飛峡（写真参照）と様々な景勝地が連続する。

この地域は、動植物相も豊富で、低山帯の落葉広葉樹林、亜高山帯の針葉樹林、ハイマツ群落と花畑からなる高山帯と変化に富み、特別天然記念物に指定されているカモシカやライチョウの生息地でもある。

指定地の大部分は登山者の領域であるが、下流の奥鐘山、猿飛峡周辺は、新緑や紅葉を楽しむ観光客で賑わう。

（文化庁文化財保護部記念物課 文化財調査官 桂 雄三）



猿飛峡

奥鐘山

特集 教育課程の基準の改善

巻頭言 8

新しい教育課程

三浦朱門

座談会 10

これからの

学校教育への期待

(出席者) 河野重男／秋山 仁／大澤正子／山谷えり子／司金 銭谷眞美

論文 18 幼稚園教育の改善に向けて

塩 美佐枝

22 小学校教育の改善に向けて

無藤 隆

26 中学校教育の改善に向けて

子どもたちの自分さがしの旅を扶ける営み

田村哲夫

30 高等学校教育の改善に向けて

工藤文三

34 特殊教育の改善に向けて

障害児が自立し、社会参加するために

細村迪夫

解説 38 教育課程の基準の改善Q&A

初等中等教育局小学校課教育課程企画室

45 資料

特別記事

表外漢字の字体について

48 提言●「表外漢字字体表試案」について

水谷 修

50 論文●学校教育と表外漢字

小林一仁

52 ●漢字出現頻度数調査と表外漢字

樺島忠夫

54 資料●「表外漢字字体表試案」の本表

文化庁文化語国語課

カラー

1 記念館めぐり・ゆかりの地を訪ねて
小泉八雲記念館（鳥根県）

4 天然記念物歳時記

上高地

表2 名作シリーズ

フルタニユ風景

表3 文化財紹介

銅金

6 私と教育、私とついで

セルジオ越後

58 焦点—文教施策

中教審—ニュース

インフォメーション

70 都道府県発

●教育・学術・文化・スポーツ—ニュース

石川県珠洲市、京都府
徳島県、川崎市

72 現代スポーツあれこれ
行ってみよう やってみよう
国立室戸少年自然の家

76 海外教育—ニュース

文学のふるさと
やよ少年たちよ

80 インフォメーション

鑑賞席

84 編集後記

天然記念物 歳時記

(長野県安曇村)

昭和3年3月24日名勝及び天然記念物指定

昭和27年3月29日特別名勝及び特別天然記念物指定



河童橋から見た穂高連峰

上高地

上高地は、長野県北部に位置する三〇〇m級の高山に囲まれた盆地である。北アルプス登山の拠点として賑わいを見せる。地質地形、動物、植物など多数の保護すべき対象を含んでいることから天然記念物（天然保護区域）として指定されている。また、我が国を代表する山岳景観として名勝に指定されている。指定された範囲は、西は穂高連峰、東は蝶ヶ岳、北は槍ヶ岳、南は焼岳に囲まれた梓川の集水域にあたる。上高地は、北米フレートとユーラシアプレートの境界域であるフォッサマグナの西側に位置する我が国でも有数の隆起地域である。過去一〇〇万年間の隆起量は、一五〇〇mに達するといわれている。この地域の地質は、中生代の堆積岩、白亜紀の花崗岩類、第四紀の火山など変化に富む。最終氷期の痕跡も顕著で、槍—穂高連峰の東斜面には溜沢の圈谷や槍沢、横尾谷などのU字谷、さらに氷河によって運搬された堆積物も発達する。

屹立する北アルプスの峰は、激しい地殻変動による上昇と、風雨による浸食のせめぎ合いによる、かりそめの姿でもある。大正元年測量の上高地の地形図に大正池はない。田代池も現在より大分大きく描かれている。大正池は、焼岳の火山活動による梓川の堰き止めにより大正四年に出現したものである。周囲の山々の浸食による土砂は池沼に土砂を堆積させ、田代池の湿原化を進行させた。山々からの雨水を集めた梓川も日々その流路を変えている。上高地は、現在もそして将来も絶えずダイナミックに変化を続け、多彩な景観、多様な動植物相を見せてくれるだろう。

(文化庁文化財保護部 桂 雄三)
(記念物課文化財調査官)



奥穂高岳から見た上高地

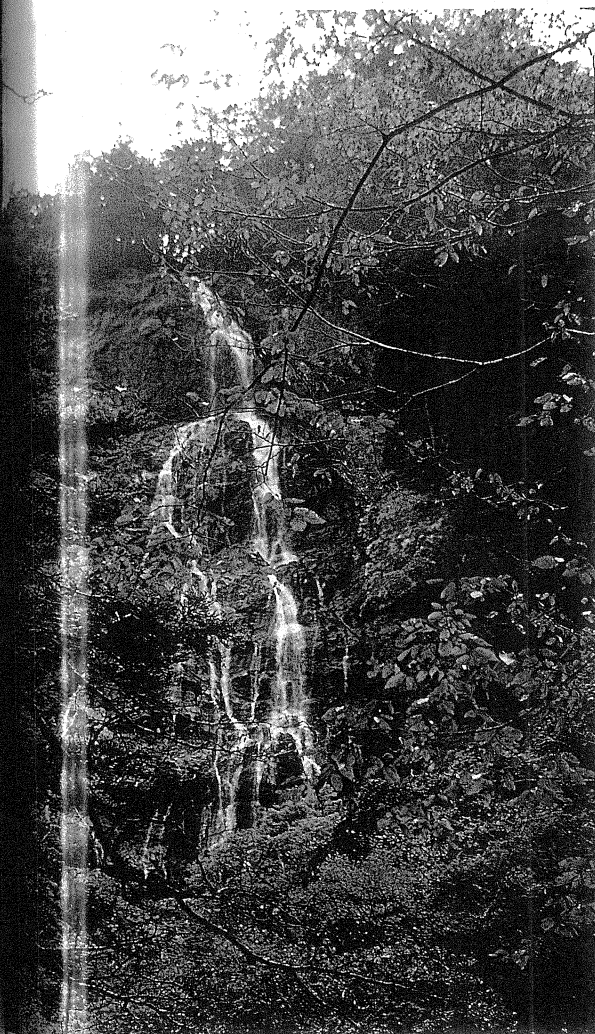
写真提供：安曇村商観光課、山本信雄

特集 産学官の連携・協力の推進

- 巻頭言 8 一一一世紀の科学と産学連携 吉川弘之
- 座談会 10 産学官連携の新しい展開
出席者 小野田 武／四ツ柳隆夫／小林俊一／高橋真理子
／司会 磯田文雄
- 論文 22 産学官連携推進と転換期を迎えた
地域共同研究センター 石原 修
- エッセイ 24 地方から新風を 板東久美子
- 事例紹介① 26 大学から産業界への技術移転システムの構築
株式会社先端科学技術インキュベーションセンター
- 事例紹介② 28 進化する産学官の連携 立命館大学
- 事例紹介③ 30 アメリカの産学連携 日本開発銀行
- 事例紹介④ 32 産学連携におけるベンチャー・キャピタルの役割
株式会社宮崎太陽キャピタル
- 事例紹介⑤ 34 産学共同でシステムLSI開発・設計の本格的ベンチャー会社を設立 株式会社シンセシス
- 解説 36 大学と産業界との連携協力について
学術国際局研究助成課研究協力室
- 42 資料
- 49 産学官共同研究関連用語解説

- カラー
- 1 記念館めぐり ●ゆかりの地を訪ねて
榎方志功記念館（青森県）
- 4 天然記念物歳時記 大杉谷
- 表2 名作シリーズ
聖アントニオスの誘惑
- 表3 文化財紹介
島根県荒神谷遺跡出土品
- 6 私と教育、私とつづき キャシー中島
- 50 焦点—文教施策
都道府県発
●教育・学術・文化・スポーツニュース
福島県、長野県、岡山県、福岡県
- 66 科学はいま 国立極地研究所
- 68 現代スポーツあれこれ トライアスロン
- 70 行ってみよう やつてみよう
国立山口徳地少年自然の家
- 72 海外教育ニュース
文学のふるさと 神通川
- 74 私の選んだ一冊 杉原 正
- 77 インフォメーション
- 82 鑑賞席
- 84 編集後記

大杉谷



大杉谷は、三重・奈良両県にまたがる大台ヶ原の最高峰日出ヶ岳（一六九五m）に端を発する宮川の源流部である。有名な多雨地である大台ヶ原一帯の水を集める大杉谷は、豊富な水量を誇り、延々一〇kmにわたって谷を深く切り込んで流れ落ちる。急峻な地形のため見事な滝が連続して見られ、直径十数mもの滝壺のある堂倉滝、明るく裾広がり光滝、上下二段に分かれ壮観なセツ釜滝、一一〇mの垂直な岸壁を落ちる千尋滝（写真）など大小あわせて数百の滝があるといわれている。

こうした渓谷の周囲には、ほとんど人手の入って

いない森林が成立している。標高八〇〇mまでの地域にはシイ・カシ類からなる照葉樹林が、その上方にモミ・ツガなどの移行帯を挟んで、ブナ・ミズナなどの落葉広葉樹林が分布し、美しい垂直分布を見せている。また、コウヤマキ、トガサワラなど、植物分類地理学上貴重な植物も生育している。

高さ一五〇mに及ぶものはじめ、数々の吊り橋のかかるこの渓谷は、まさに秘境と呼ぶにふさわしい景観を示している。

（文化庁文化財保護部記念物課
文化財調査官 藤田明史）

千尋滝

CONTENTS
特集

中央教育審議会「今後の地方教育行政の在り方について」答申

巻頭言 8	地方教育行政の改善に向けて 有馬朗人
答申に 10	「今後の地方教育行政の在り方について」の答申に当たって 根本二郎
11	中央教育審議会「今後の地方教育行政の在り方について」答申について 大臣官房政策課
座談会 16	今後の地方教育行政の在り方 ——出席者 河野重男／安齋省一／松井石根／船津春美／司き高 為重
論文 28	地方分権時代の学校と教育委員会 石原多賀子
エッセイ 32	中教審の審議に参加して 金剛育子
事例紹介① 34	住民主体ですめる教育改革 川崎市教育委員会
事例紹介② 37	通学区区域の弾力化 東京都葛飾区教育委員会
事例紹介③ 40	生涯学習による町づくり 秋田県山本郡夢丘町教育委員会
解説 42	地方教育行政制度の概要 大臣官房政策課
47	中央教育審議会「今後の地方教育行政の在り方について」答申を受けた文部省の対応 大臣官房政策課、教育助成局財務課

6	私と教育、私とつけ 陳 建一
50	焦点—文教施策 中教審ニュース
62	都道府県発 宮城県塩竈市、栃木県大田原市、兵庫県、沖縄県
68	現代スポーツあれこれ グラウンド・ゴルフ
70	行ってみよう やってみよう 国立淡路青年の家
72	海外教育ニュース 文学のふるさと 小さな雪の町の物語
74	私の選んだ一冊 本間三和子
76	インフォメーション 鑑賞席
78	編集後記
80	カラー
表1	記念館めぐり—ゆかりの地を歩こう— 高知県立牧野植物園（高知県）
表2	天然記念物歳時記 男女群島
表3	文化財紹介 キリスト降誕 入江貝塚

天然記念物 歳時記

●問い合わせ先
長崎県教育委員会文化課 TEL 095-824-1111

(長崎県福江市)

昭和44年 8月18日天然記念物指定

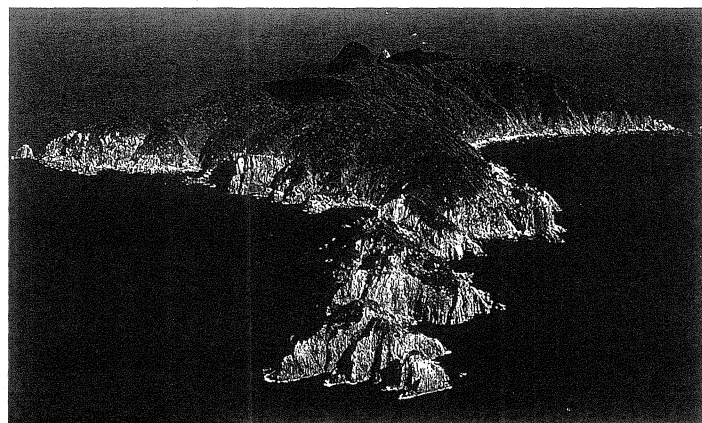
男女群島

男女群島は、五島列島の南七〇km、鹿児島県の阿久根市の西沖一七〇kmの東シナ海にあり、男島、女島ほかにいくつもの小島と多数の岩礁からなっている。対馬暖流に洗われるため、年平均気温が一七・六度と九州の南部よりも温暖である。ただ、急峻な崖におおわれていることもあって、これまで人が定住したことはなく、女島にある灯台の保守点検のため立ち入るだけである。

この暖かさによって、群島にはモクダチバナやタブノキなど照葉樹の群落がよく発達している。林内には、ここが分布北限となっているマルバニッケイなどの南方系の植物が多く生育し、また海岸や崖はダルマギク、タイトゴメ、ハチジョウウスギなどの耐塩性の植物の群落で覆われている。

また、鳥類は約一〇〇種が記録されており、その中にもカラスバト、アカコッコ、アカヒゲなどの南方系の種が認められる。さらに、東シナ海上の孤島のため、渡り鳥たちの格好の中継地となっており、多数のオオミスズドリがここで営巣している。両生類は分布していないが、ザウテルヘビは台湾・中国大陸系の八虫類で、日本ではこの群島にしか生息していないなど、固有な動物相を持っている。

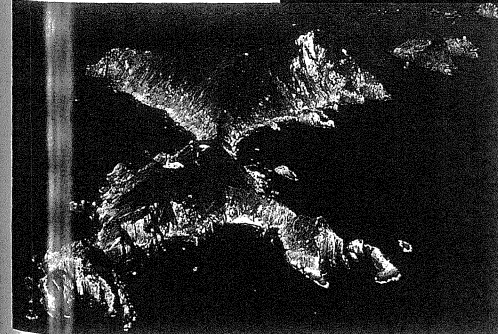
（文化庁文化財保護部記念物課 池田 啓）
文化財調査官



男島



カラスバト



女島

写真提供：長崎県教育委員会文化課
長崎県自然保護課

21世紀を見据えた海外子女・帰国子女教育

- 6 平成一一年 年頭の所感 ◇文部大臣 有馬朗人
巻頭言 12 これからの海外子女・帰国子女教育 猪口邦子
座談会 14 二一世紀を見据えた海外子女・帰国子女教育
(出席者 池上久雄／斉藤三郎／平野吉三／小平桂子／アネット／司会 泉紳一郎 児島邦宏)
- 論文 26 帰国子女教育の未来像 児島邦宏
30 インターネットの活用による海外子女教育の未来像 折田一人
エッセイ 34 帰国子女としての誇りを持つて 宇田麻衣子
体験記① 36 シンガポールの自然、社会の中で「豊かな国際性を育てる」横断的・総合的な学習——シンガポール日本人学校・小学部
体験記② 38 補習授業校相談室は宝物！——デトロイト補習授業校
体験記③ 40 点と線から、面とネットワークへ——つくば市教育委員会
体験記④ 42 ボゴタ日本人学校における国際理解教育 山川龍一
体験記⑤ 44 ヨハネスブルグ日本人学校派遣教員としての三年間を振り返って 石田篤司
体験記⑥ 46 『お母さん、ぼく人生かわったよ』 青井英子
体験記⑦ 48 夢を見つけるために…… 大庭陽沙
解説 50 海外子女・帰国子女・外国人子女教育の現状 教育助成局海外子女教育課

- カラー
表3 文化財紹介 木造男神坐像
表2 名作シリーズ 石化した森
4 天然記念物歳時記 双石山
1 記念館めぐり ●ゆかりの地を訪ねて 堂本印象美術館 (京都府)
- 10 私と教育、私として ケント・ギルバート
58 焦点 文教施策
66 中教審ニュース
68 インフォメーション
69 私の選んだ一冊 四方義啓
70 都道府県発 秋田県、三重県、静岡県、鹿児島県
●教育・学術・文化・スポーツニュース
72 科学はいま 国立天文台ハワイ観測所
74 現代スポーツあれこれ チアリーディング
76 海外教育ニュース 土佐日記
78 文学のふもと
80 インフォメーション
82 鑑賞席
84 編集後記

天然記念物 歳時記

(宮崎県宮崎市)

昭和44年 8月22日天然記念物指定

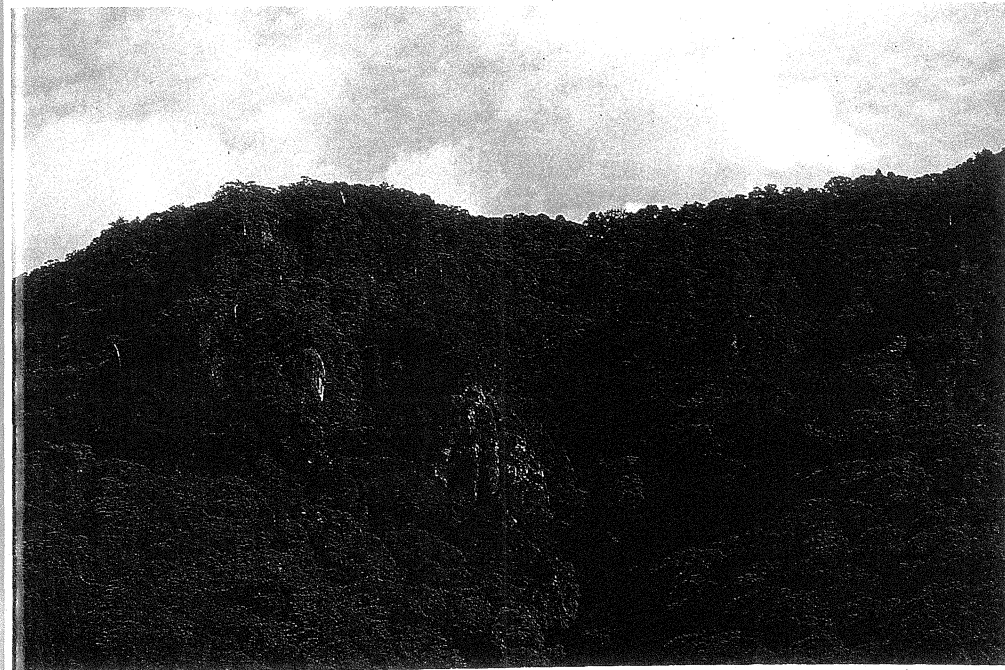
双石山

宮崎市街から南へ車でわずか二〇分ほどの距離にある双石山は、砂岩や礫岩からなる標高五〇〇mあまりの急峻な山である。浸食されやすい母岩のため、奇岩や絶壁が方々に見られる。

全域が照葉樹林に被われている指定地は約六四ha。谷部にはタブ・ホンバタブが高木層を構成し、斜面では、標高の低い場所ではシイが、高くなればイスノキ・ウラジロガシが優占する。また、稜線にはツゲモチやアカクなどが、岸壁にはシマサクラガンビやイワヒバナなどがみられるなど、地形に応じた植生が成立している。シダ類も南方系の希産種を含めて一五〇種近くが生育しており、コンバクトながらも、多様な暖温帯域の植生の姿を知ることができ、大変興味深い。

亜熱帯系のミカドアゲハや天然記念物ヤマナなども生息しており、最近ではすっかり少なくなってしまう照葉樹林として、その存在は貴重である。

(文化庁文化財保護部記念物課 蒔田明史)
文化財調査官



写真提供：斉藤政美

特集 スクールカウンセラー

- 特別記事 「少子化への対応を考える有識者会議」提言について
- 52 少子化への対応を考える有識者会議 生涯学習局男女共同参画学習課
- 54 夢ある家庭づくりや子育てがでる 社会を築くために(提言) 文部省関連部分抜粋
- 論文 22 スクールカウンセラーの学校教育への導入の必要性と問題改善策 松原達哉
- 出席者 石川順子／村山正治／富山謙二／藤原里美／(司会)河村潤子
- 座談会 10 スクールカウンセラーの活用と学校教育 河合隼雄
- 31 平成九・一〇年度スクールカウンセラー 活用調査研究校の実践 福岡県粕屋郡須恵町立須恵中学校 京都市教育委員会
- 34 カウンセリング機能の充実に向けて 初等中等教育局中学校課
- 38 「スクールカウンセラー活用調査研究委託」事業について 初等中等教育局中学校課
- 42 教育相談体制の充実 初等中等教育局中学校課
- 資料 44 中央教育審議会答申(抄) 次代を担う青少年のためにいま求められているもの／スクールカウンセラー活用調査研究校(平成一〇年度)

- 6 私と教育、私とつづ べま・ギヤルボ
- 62 焦点—文教施策 中教審ニュース
- 64 私の選んだ一冊 青山佳世
- 67 都道府県発 ●教育・学術・文化・スポーツニュース 埼玉県、奈良県、高知県高知市
- 70 科学はいま 高エネルギー加速器研究機構
- 72 現代スポーツあれこれ 綱引
- 74 行ってみよう やってみよう 国立信州高遠少年自然の家
- 76 海外教育ニュース 江津湖五句
- 78 文学のふもと インフレーション
- 83 鑑賞席
- 84 編集後記

天然記念物 歳時記

問い合わせ先 鹿児島県教育委員会 TEL 099-286-2111

(鹿児島県住用村、宇検村、大和村)

昭和43年11月8日天然記念物指定



神屋・湯湾岳

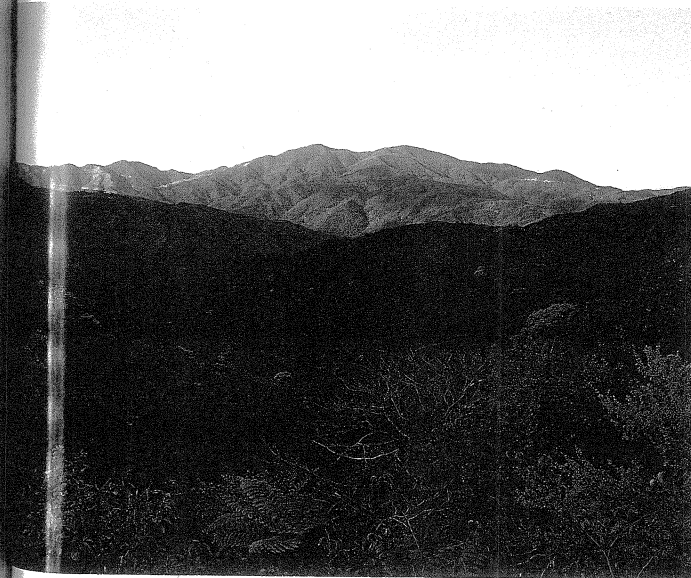
神屋・湯湾岳が所在する奄美群島は、琉球列島とともに早くからアジア大陸とは分離し、種子島、屋久島以北の日本本土と生物相が大きく異なり、生物地理的に注目すべき地域である。

湯湾岳は奄美大島の中央部に位置し、標高六九四m、奄美群島の中では最も高い山である。山頂近くはミヤマシロバイ、モッコク、ヤマモモなどを主とした低木の亜熱帯林となっている。また、湿度が高く、熱帯の霧林に似た様相を示し、木の幹はコケなどに被われ、着生植物の種類も多い。

神屋はこの湯湾岳から東、住用川の上流域に位置するスタジイ林で、樹齢百年を越すものも多く奄美群島における代表的なシイ林である。林床にはアマミカタヒバなどの固有種が生育する。

さらに両地域は、奄美大島でしか見られないアカヒゲ、ルリカケス、オオトラツグミ、オーストンオオアカゲラ、奄美・琉球地域にのみ生息するアマミノクロウサギ、トゲネズミ、ケナガネズミなどの特別天然記念物及び天然記念物の主要な生息地となっており、開発が進む中で、この地域の重要さを一層際立たせている。

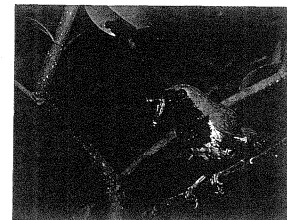
(文化庁文化財保護部記念物課 文化財調査官 池田 啓)



神屋・湯湾岳



ルリカケス



アカヒゲ

- 1 記念館めぐり ● かりの地を訪ねて 北海道立三好太郎美術館(北海道)
- 4 天然記念物歳時記 神屋・湯湾岳
- 表2 名作シリーズ 荊冠のキリスト
- 表3 文化財紹介 雨の宮古墳群

特集 ポスト2000年の留学生政策

- 巻頭言 8 大学の国際化と知的国際貢献 中嶋嶺雄
- 座談会 10 ポスト二〇〇〇年の留学生政策
- 論文 20 グローバリゼーションと大学の「国際化」戦略 喜多村和之
- 24 UMAP単位互換スキーム (UCTS)の実験と学生交流の推進 二宮 皓
- エッセイ 28 意志あるところに道はある 毛ハマト・タジユディン・ドン
- 30 「日本に留学したいんですけど…」 浅田和伸
- 事例紹介① 32 「グローバル」な留学生受入れを目指して 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科
- 事例紹介② 34 日米共同の短期留学プロジェクトについて 国立大学協会
- 事例紹介③ 36 国際研究交流大学村の建設について 学術国際局留学生課
- 解説 38 我が国の留学生の受入れについて 学術国際局留学生課
- 資料 47 留学生受入れの概況 学術国際局留学生課

- 6 私と教育、私とつづき リサ・ステックマイヤー
- 52 焦点—文教施策 刊行物紹介 都道府県発 ●教育・学術・文化・スポーツニュース
- 62 中教審ニュース 埼玉県浦和市、愛知県、岡山県、宮崎県諸塚村
- 68 現代スポーツあれこれ トスポール 行ってみよう やってみよう 国立江田島青年の家
- 72 海外教育ニュース 文学のふもと 紀ノ川
- 74 私の選んだ一冊 榎府暢子
- 77 インフォメーション 鑑賞席
- 82 編集後記

仲間川天然保護区域

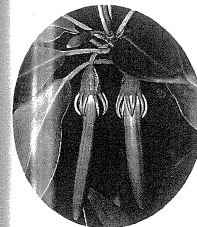
熱帯を本拠地にするマングロープ林が日本にも生育している。琉球列島の島づたいのそこかしこで見ることが出来る。本場に比べれば種類も少なく群落の広がりも狭隘だが、北限地帯に生育する真正正路のマングロープ林で、その学術的価値は高い。また、この植物群落を代表する樹たちの種子や樹型の特異な姿かたちは、初めての目にエキゾチックな印象を与え、こと請け合ひである。

種数、面積ともに国内最大の規模を誇るのが、西表島の東南部に開口する仲間川の河口域から上流一〇kmに及ぶ潮感域にかけて広がるマングロープ林だ。島の東の玄関口に近いかもあって、この珍しい植生景観は人気の高い見所のひとつとなっている。

ここではヒルギ類など六種のマングロープが、生育環境に応じて川から岸に向け規則的に配列しているのが見られる。一番手前にはヒルギタマシとマヤブシギが、その奥にヤエヤマヒルギ、そしてオヒルギといった具合に。この配列はマングロープ林の本場、東南アジアでも観察されることから、仲間川のこの林が本格的なものであることがわかる。

潮の満ち引きが直接及ぶマングロープ林には魚類のほか、ヒルギ類の葉や落葉を餌にする貝やカニ、それらを餌にする鳥などが加わって多様で特異な生態系を作り出している。このことに着目して天然保護区域として指定され保護が図られている。

(文化庁文化財保護部記念物課 花井正光)
(主任文化財調査官 二宮 皓)



オヒルギの胎生芽
落下以前に根を伸ばす特有の種子



ヤエヤマヒルギの気根
樹種により異なる気根の形状がおもしろい



仲間川河口域に広がるマングロープ林